株式会社エアー
2024/01/25 更新

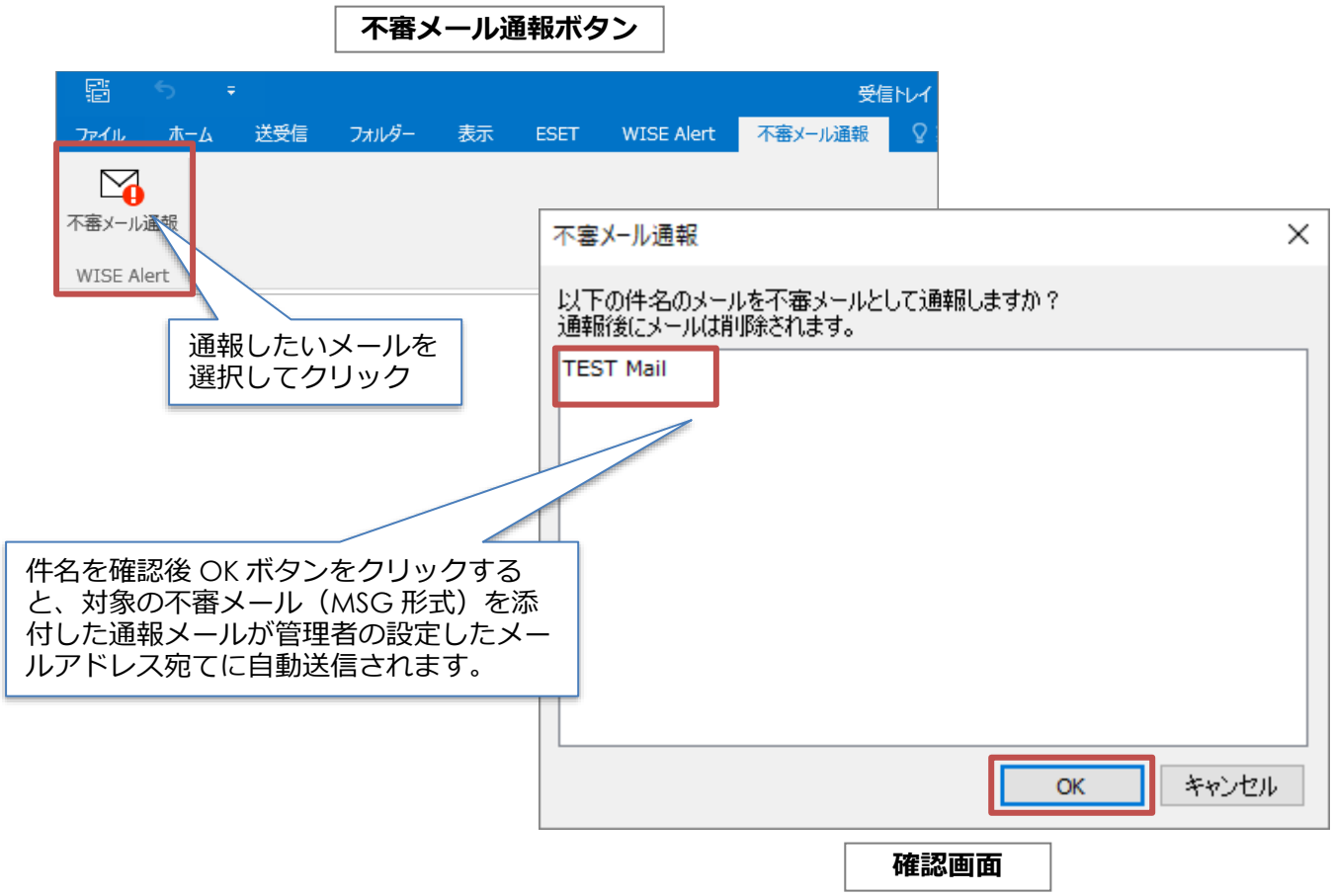
# WISE Alert 過去の新機能概要

## WISE Alert V3.11.0 新機能／機能改善

WISE Alert の最新バージョン V3.11.0 では、受信メールに対する新しい機能の追加と、内部ドメイン判定の利便性が向上しました。脱 PPAP が進む中で、グループ会社など、複数企業も含めたメール誤送信対策をより使いやすく便利なものしたいと思い、WISE Alert をご利用中のお客様からの声を形にしました。細かな点にも改善を加えた、より使いやすい WISE Alert となっています。

### １．不審メール通報機能

Enterprise 版に、新しく「不審メール通報機能」を追加しました。（Standard 版では本機能はご利用できません。）なりすましなどあやしいメールを受信した際、そのメールを社内システム管理者宛など、指定のメールアドレスに転送して報告する機能です。不審メール自体は通報後に受信メール Box から自動的に削除されます。本機能を使ってあやしいメールをいち早く管理者に連絡することで、攻撃型メールの予防や被害の早期対応の手助けをします。

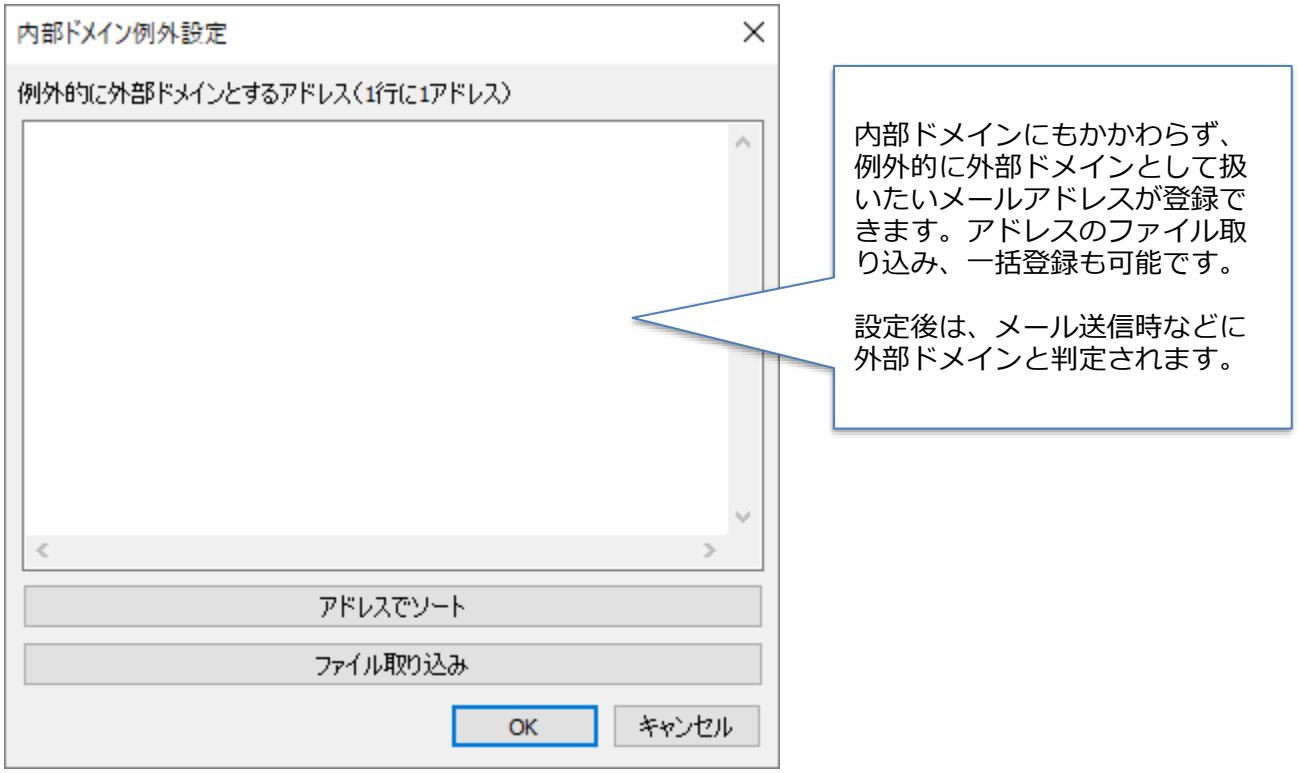



Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

## ２．内部ドメインの例外設定

WISE Alert で内部ドメインを登録する際に、内部ドメインであっても特定のメールアドレスを外部扱いに設定できる機能を追加しました。同じドメインのグループ会社や、複数人が受信者となる社内グループアドレスにメールを送るときなど、外部ドメインと同様の確認を行うことができます。

**内部ドメインの例外設定画面**




その他にもリンク共有機能利用時の細かな設定面での機能拡張を行い、利用者のユーザービリティと利便性を向上しています。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

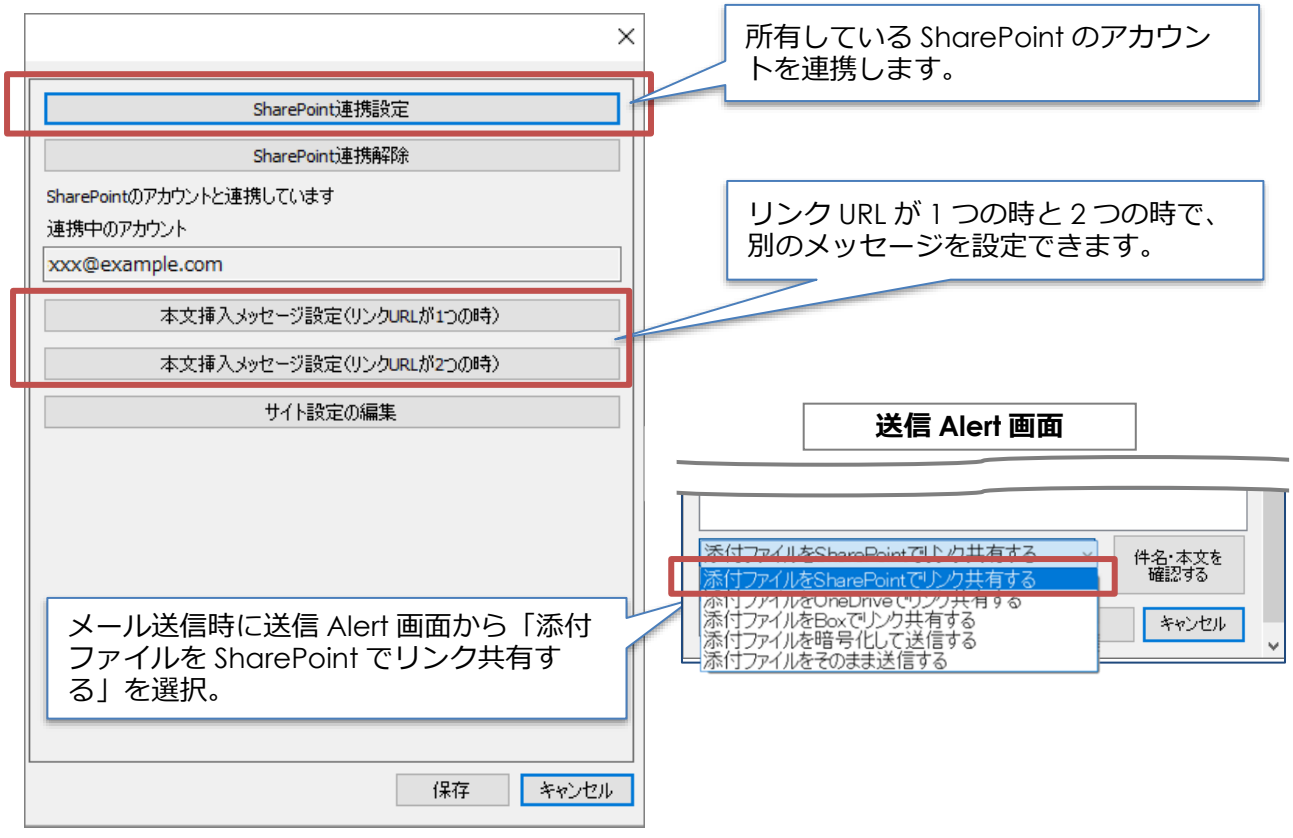
# WISE Alert V3.9.0 新機能／機能改善

WISE Alert の最新バージョン V3.9.0 では、待望の脱 PPAP 機能として Microsoft SharePoint （以下、SharePoint ）を使ったファイル共有が可能となりました。既に Microsoft 365 をご利用中の企業様も、今の環境を変更せずに PPAP 対策を行うことができます。その他にも既存ユーザー様からの声にお応えして操作性等の向上も図っているため、より使いやすい WISE Alert となっています。

## 1．添付ファイルのリンク共有先に SharePoint を追加

リンク共有機能のクラウドストレージ先として新たに SharePoint が使えるようになりました。既に Microsoft 365 をご利用中のお客様も、添付ファイル送信時のアップロード先としてフォルダを自由に選択しそのまま使用できます。ファイルを添付したメールを送る際に、送信 Alert 画面の［添付ファイルを SharePoint でリンク共有する］を選択して送信ボタンを押すと、連携済みの SharePoint にファイルを自動的にアップロードし、送信先にファイルへアクセスするための URL リンクをメールで通知します。

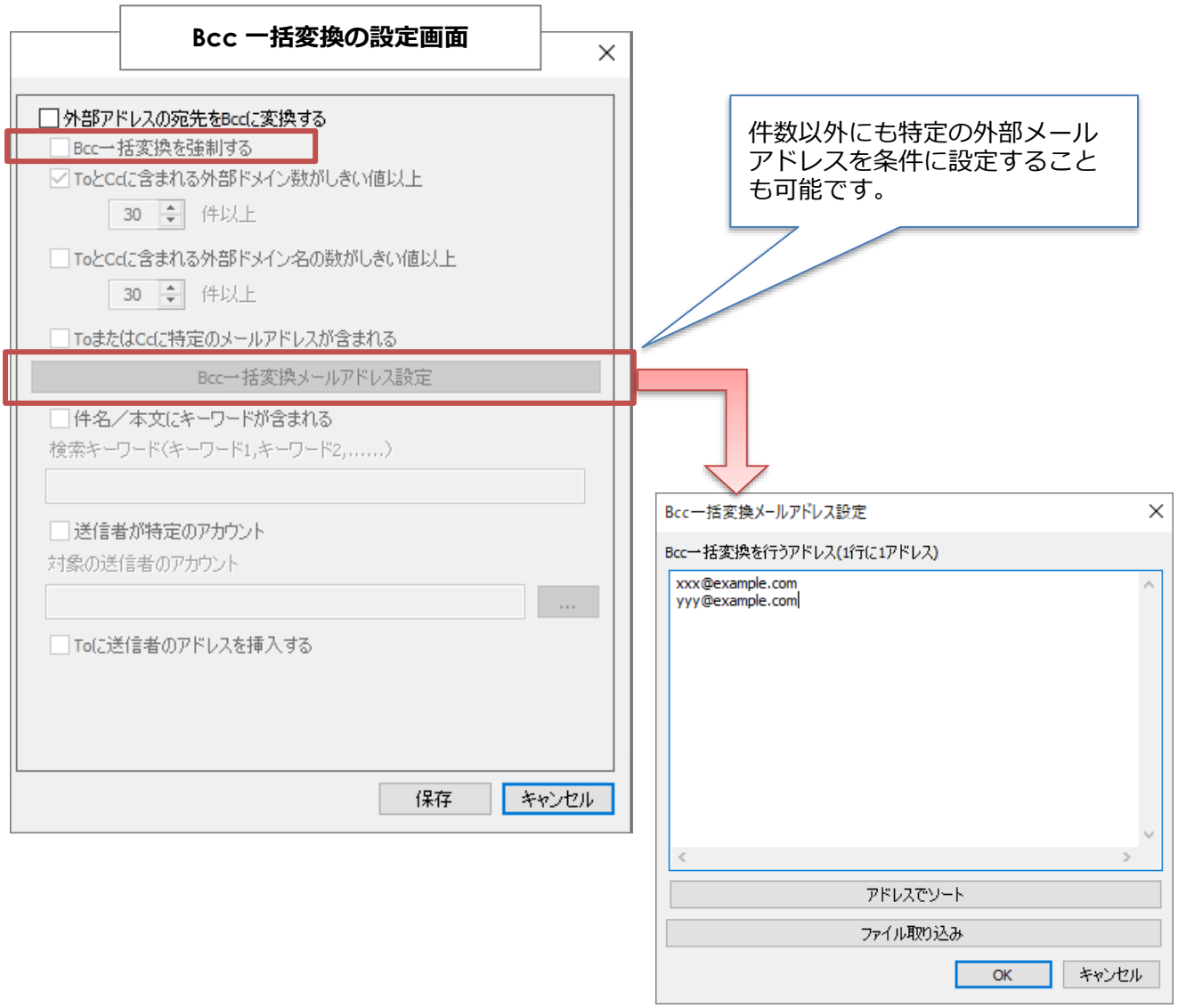
**SharePoint との連携設定画面**




Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

## 2．Bcc 一括変換機能の拡張

メール送信時の Bcc 一括変換を強制できるようになった他、Bcc へ一括変換するかの確認ダイアログを表示する条件が増えました。より細かな条件設定が可能となったことで、メール返信時など気づかずに To や Cc に入ってしまったまま送信してしまう、といった事故の予防策としても役立ちます。




その他にも Box と連携したリンク共有機能の強化や、企業の脱 PPAP 運用の徹底を支援する機能としてリンク共有機能の強制、添付ファイルの送信不可などさらに統制した運用ができる機能を追加しています。

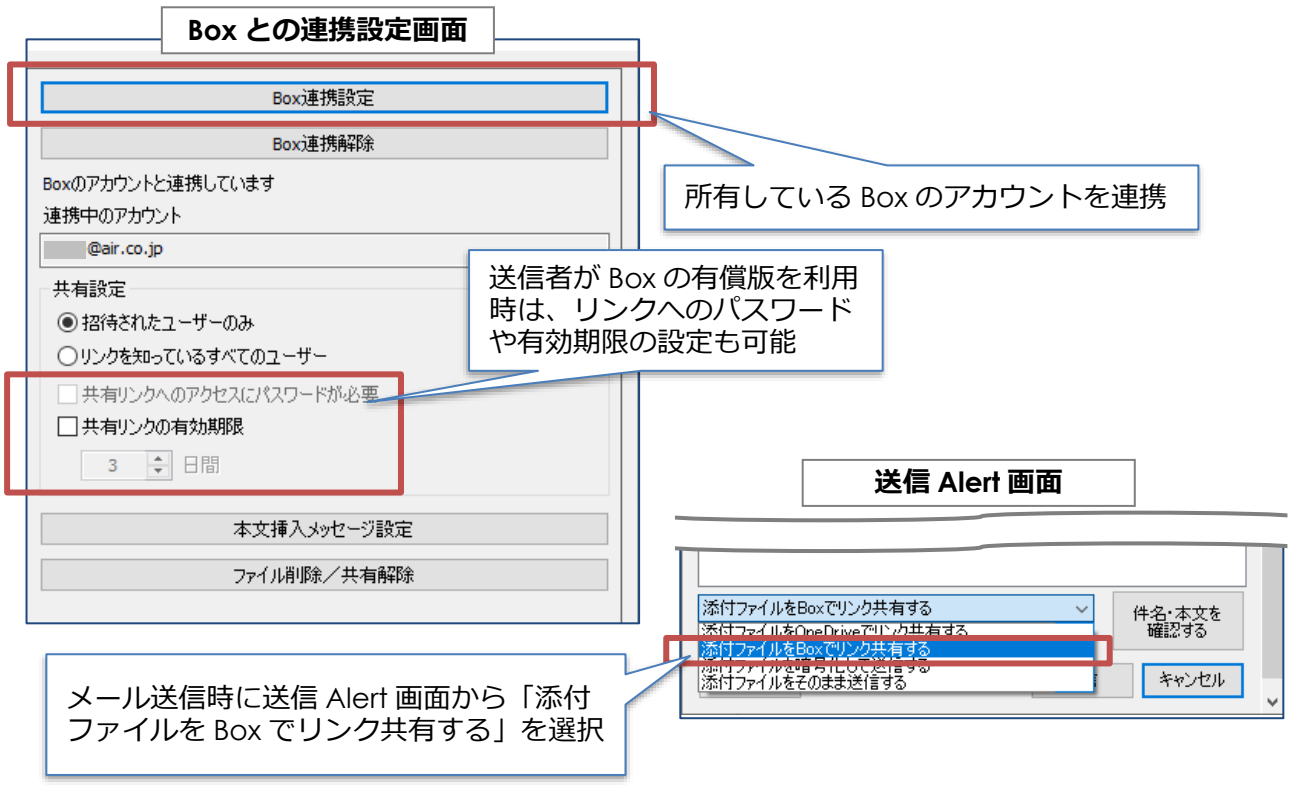
Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V3.8.0 新機能／機能改善

V3.8.0 では、添付ファイル送信時のリンク共有先に Box が追加されました。企業向けのクラウドストレージサービスの中でも圧倒的な世界シェアを持っている Box に対応することで、既に Box を利用中の企業様も今の利用環境を変更せずにメールの誤送信対策を行うことができます。その他にもお客様からいただいた要望を元に添付ファイル送信時の機能向上を行い、企業が持つ様々なメール送受信のポリシーに柔軟な対応ができる WISE Alert となっています。

## 1．添付ファイルのリンク共有先に Box を追加

リンク共有機能のクラウドストレージ先として新たに Box を使えるようになりました。相手が ZIP 暗号化ファイルをメールで受信できない場合などに便利です。ファイルを添付したメールを送る際、送信 Alert 画面の［添付ファイルを Box でリンク共有する］を選択して送信ボタンを押すと、連携済みの Box にファイルを自動的にアップロードし、送信先にファイルへアクセスするための URL リンクをメールで通知します。さらに、Box 有償アカウントと連携をしている場合には URL リンクへアクセスするためのパスワードや、リンクの有効期限も設定できるため、メールの宛先間違いが起きてしまった場合でもパスワードを未通知の時には、ファイルが相手に渡る心配はありません。




Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

## 2．リンク共有機能機能向上

リンク共有機能において、送信先に添付ファイルのリンク URL を通知する方法を「HTML 添付ファイル」以外に「メール本文先頭」「メール本文末尾」の 2 つを追加し、計 3 つから 1 つを選べるようになりました。WISE Alert 内、OneDrive／Box の「ファイルアップロード設定画面」から選択できます。

**例えば添付ファイルを受信できない宛先には、メール本文にリンク URL を記載する、など相手によって URL の通知方法を都度変更することができて便利です。**




その他、1 つの添付ファイルを送信した時でも、リンク先のストレージにはフォルダ共有できるようになったり、WISE Alert の設定画面から、手動でリンク共有済みのファイルを削除したり、ファイル共有を解除できるようになっています。

## 3．ZIP 暗号化機能の機能向上

WISE Alert の ZIP 暗号化機能について、新たに以下の機能を追加し利便性がよくなりました。

- メール本文へのメッセージ挿入
- 暗号化方式の既定設定
- ドメイン毎のパスワード設定
- 自動生成したパスワードの履歴確認　　など

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

その他にも、送受信時の設定において除外／許可リストやカラーアイコンのソート機能を追加したり、管理者側の機能強化を行っています。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V3.7.0 新機能／機能改善

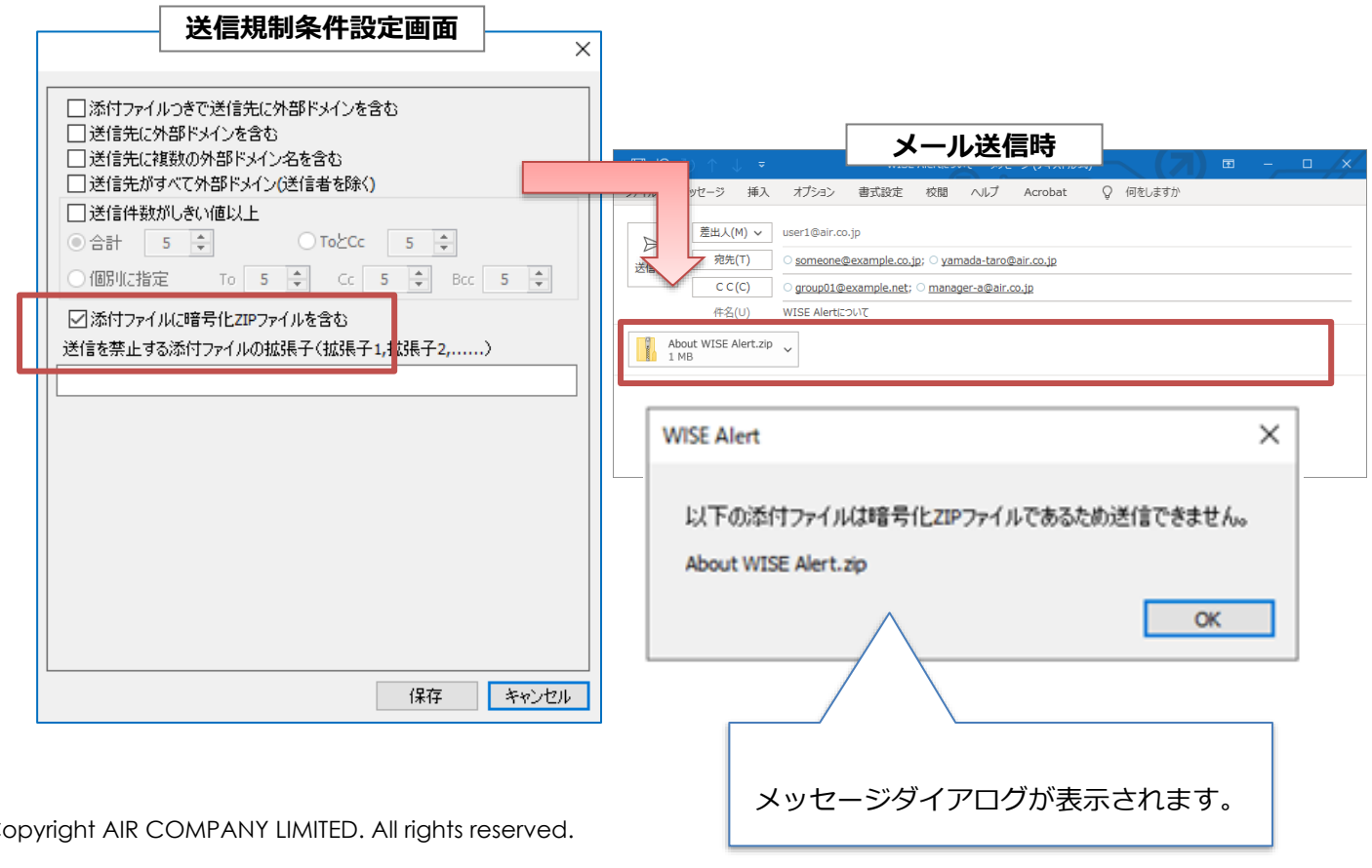
WISE Alert V3.7.0 では、従来警告までに留まっていたメール送信時のアラート機能から先進し、メールの送信自体を規制する機能を追加しました。これは多くのお客様からいただいていた要望を実現した機能です。また、WISE Alert アドイン無効化を監視するプログラムを新たに用意しました。さらには、Microsoft の Exchange ユーザー向けに送信 Alert 画面の宛先情報をグローバルアドレスリストと連携して表示するオプションも追加しています。近年のダイバーシティやテレワークが進む中、社員の異なる仕事環境下でも企業の誤送信対策を徹底させる新機能が満載です。

## １．メールの送信を強制的にキャンセルする「送信規制機能」

メール送信時に、事前に設定した送信規制の条件に一致したメールは、送信を強制的にキャンセルします。送信が強制キャンセルされた場合は、一致した規制条件を知らせるダイアログが表示されます。

**例えば、全社的なメールの運用ルールに違反している場合には警告表示ではなく、送信自体を強制的にキャンセルさせたいときに便利です。**

エンタープライズ版では管理者が送信規制の条件設定が可能で、ユーザーはその設定内容の確認のみできます。



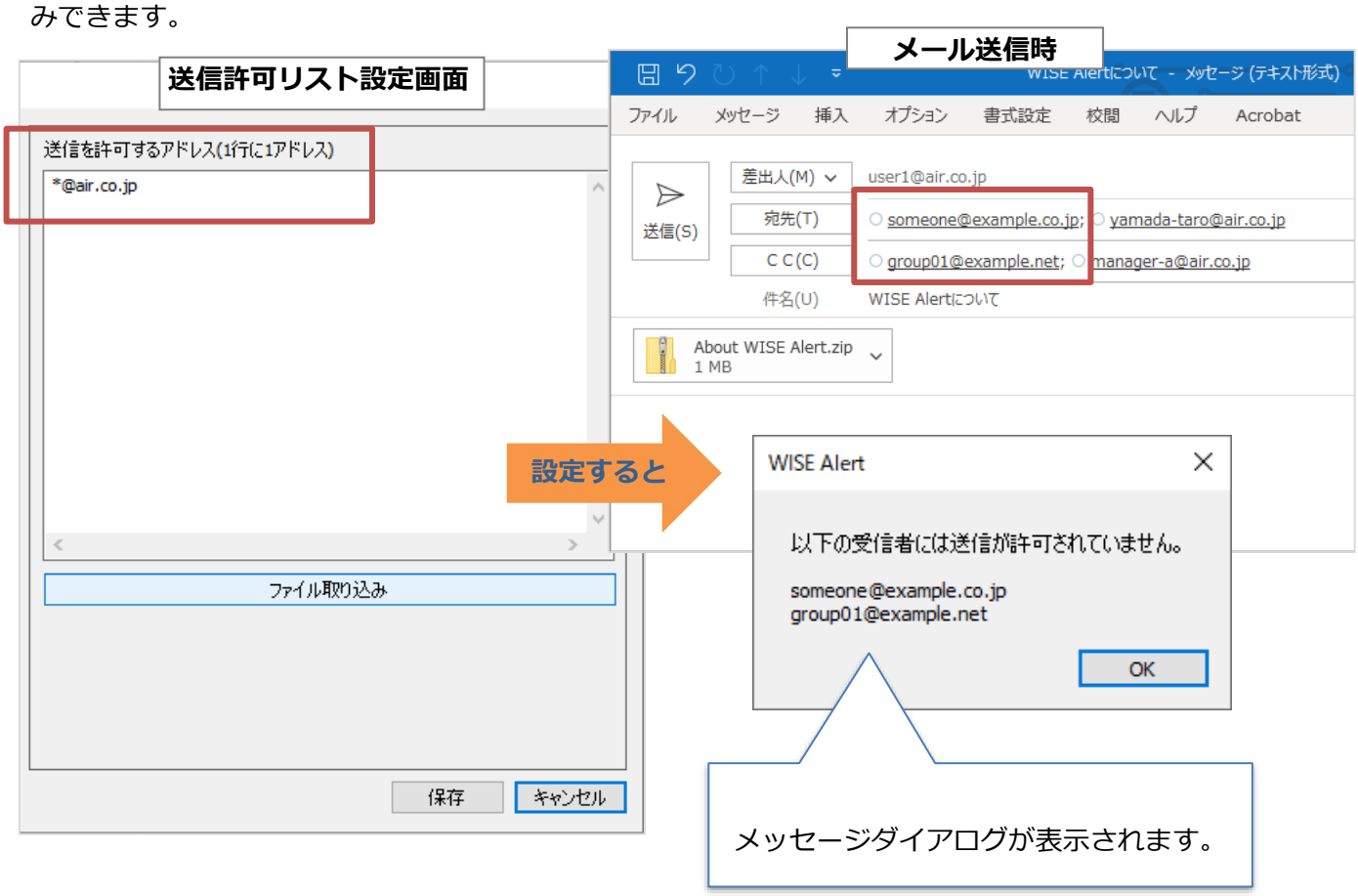

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

## 2．許可された宛先以外へのメール送信を強制的にキャンセルする「送信許可リスト機能」

事前に登録した送信許可リストに載っていない宛先がメールに含まれる場合、メールの送信を強制的にキャンセルします。

**例えば、業務上社内しかメールのやり取りを行わないユーザーが、社外や個人のフリーメールアドレスへメール送信することを防ぐときに便利です。**

メールの送信がキャンセルされたときには、許可されていない宛先がダイアログに表示されます。エンタープライズ版では管理者が送信許可リストの設定が可能で、ユーザーは設定内容の確認のみできます。




## 3．WISE Alert アドインの無効化をする監視プログラム

WISE Alert は Outlook のアドインとして動作しますが、このアドインが何らかの誤操作により無効化され、それに気づかずにメールの送受信を続けてしまうことがあります。そこでユーザーの安全と誤送信対策ルールの徹底を目的とした監視プログラムを追加しました。WISE Alert アドインの有効状態を定期的に監視し、アドインが無効となった場合はユーザーに警告メッセージを表示しログを出力するプログラムです。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

**４.「Exchange ユーザー情報連携機能」**※本機能はオプションです。ご利用には、別途ライセンスが必要です。

本機能を利用すると、送信 Alert 画面の宛先情報をグローバルアドレスリストから取得して表示します。グローバルアドレスリストからは宛先の会社名／部署名／氏名を表示することができます。さらに、グローバルアドレスリストの社名と部署名より、同一部署／他部署／関連会社／外部かどうかを判定することもできます。

その他、添付ファイルサイズによる上司 CC の自動付与やお知らせポップアップの表示改善、返信 Alert 設定画面の表示/非表示など、数多くの改良を加えています。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V3.6.0 新機能／機能改善

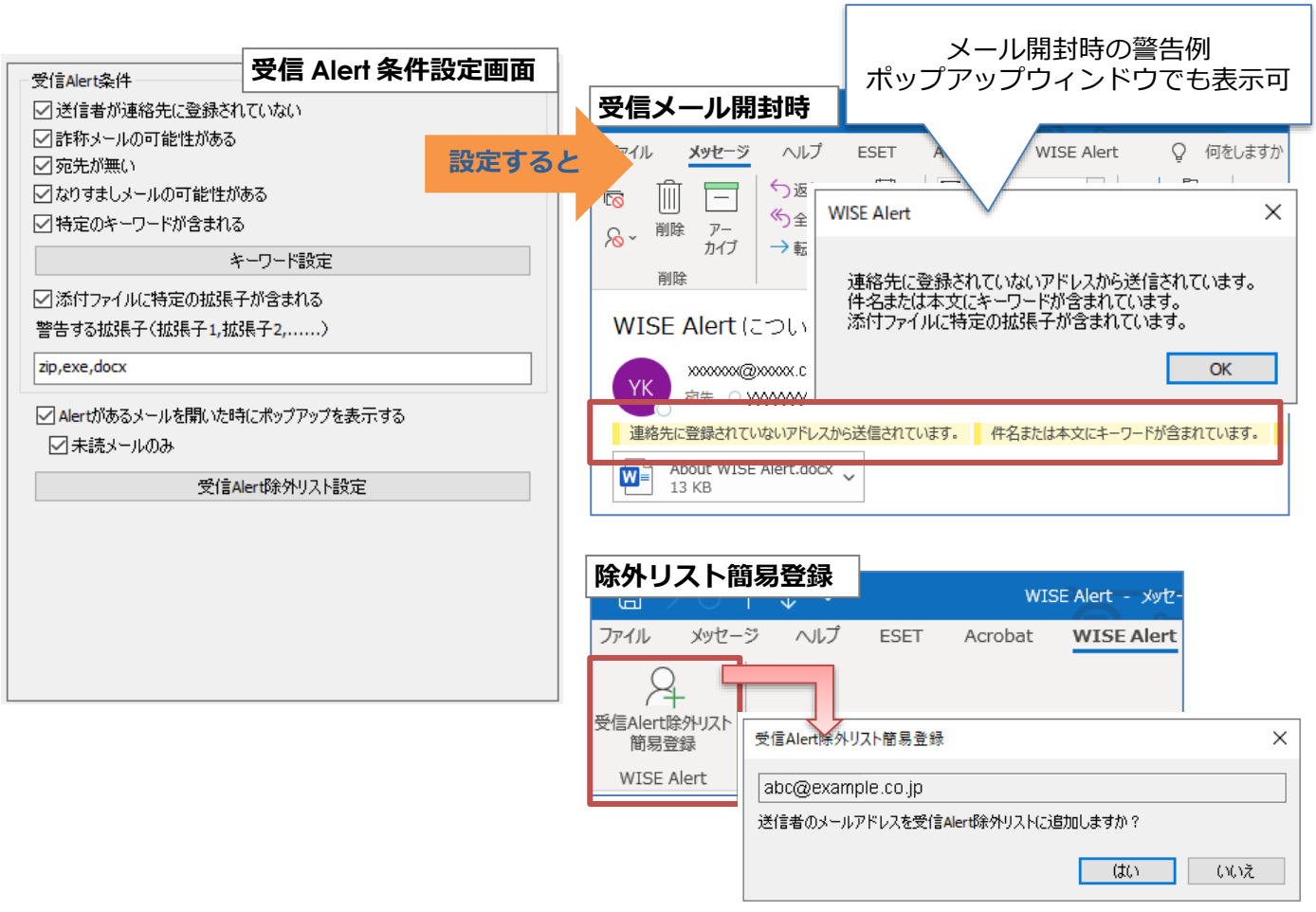
WISE Alert V3.6.0 では、メール送信時の誤送信対策機能に加え、増加する Emotet による被害から守るために、受信メール開封時に詐称やなりすましなどの怪しいメールを検知し、警告を出してメール利用者に気づきを与える機能を追加しました。さらに、メール返信時にも警告を出して注意喚起する機能も追加しており、どちらもメール利用者へメールアドレスや本文内容の再確認を促すことができる機能となっています。

## 1．受信メール開封時に怪しいメールを検知し警告を出す「受信 Alert 機能」

受信メール開封時、あらかじめ設定した受信 Alert 条件にヒットすると、警告メッセージを表示します。設定によりポップアップウィンドウでも表示できます。

**見過ごしてしまいがちなりすましメールなどの怪しいメールに対して警告されるので、メールアドレスや本文内容を注意深く確認することで、Emotet などによる被害を未然に防止できます。**

また、受信メールウィンドウのタブから、受信 Alert 条件の設定にかかわらず、警告表示をスキップさせるメールアドレスを簡単に登録（除外リスト簡易登録）することもできます。




Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

## 2．メール返信時に再確認を促す警告を出す「返信 Alert 機能」

メール返信時、あらかじめ設定した返信 Alert 条件にヒットすると、警告ウィンドウを表示します。たとえば、以下のようなケースの利用ができます。

- **なりすましメールに返信すると、情報漏えいにつながる恐れがあるため、なりすましメールの可能性がある場合に警告させる**
- **メールの引用返信を繰り返していると、重要な情報が引用文の中に残ってしまう恐れがあるため、返信回数や引用文の行数が多い場合に警告させる**




その他、既存ユーザ様からの要望を受け、添付ファイルの AES256 暗号化への対応、LDAP 連携機能利用時の性能アップなど、数多くの改良を加えています。

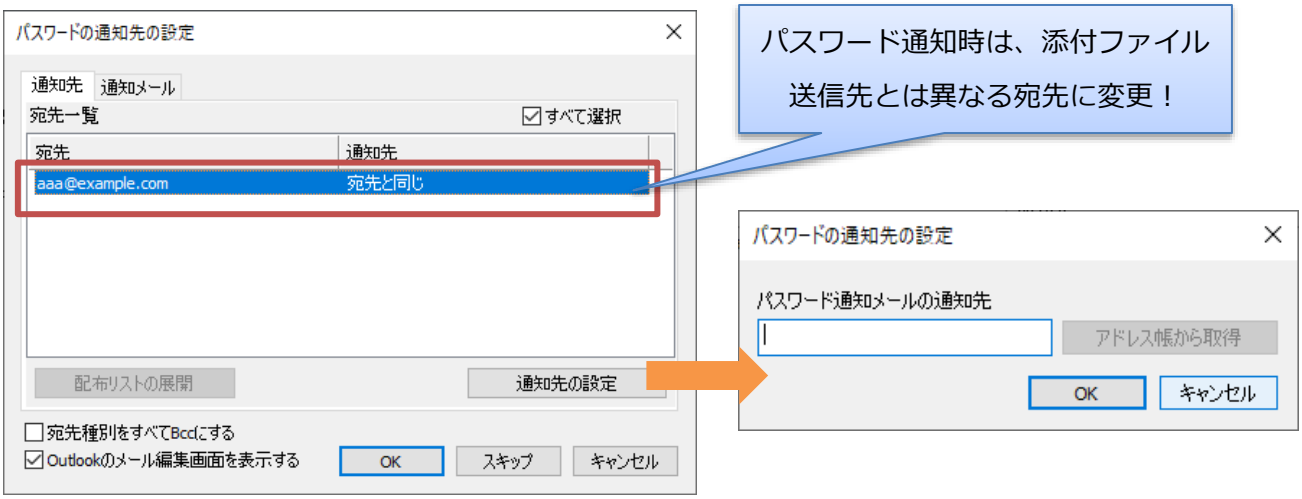
Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V3.5.0 新機能／機能改善

WISE Alert V3.5.0 では、誤送信対策として一般に普及している「添付ファイルの ZIP 暗号化送信」での問題点を解決し、添付ファイルをより安全に届けるための 2 つの機能を追加しました。
一つは、添付ファイル ZIP 暗号化後のパスワードの通知を別の宛先に送付する機能です。
もう一つは、添付ファイルは送信せず、クラウドストレージを利用して添付ファイルを共有し、受信者がファイルをダウンロードする機能です。これらにより、添付ファイルのセキュリティをさらに強化できます。
その他、既存ユーザ様からの要望に対応し、特定の宛先は送信 Alert の表示をスキップする「送信 Alert 除外リスト機能」、特定拡張子の添付ファイルの送信禁止機能など、数多くの機能を追加しました。

## 1．添付ファイル ZIP 暗号化後のパスワード通知ルート変更機能

添付ファイルを ZIP 暗号化して送信する際、添付ファイルを送信する宛先とは別の経路で、パスワードを通知することができます。**添付ファイルとパスワードを別の経路で送るため、仮に攻撃者がいても両方のメールを入手できてしまうリスクを極力減らすことができます。**
一度通知先を変更した宛先については、次回よりパスワード通知先は変更後の通知先が表示されるようになります。さらに、メールアドレスの漏えい対策として、宛先をすべて Bcc にして送信することもできます。




Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

## 2．クラウドストレージを利用した添付ファイル共有機能

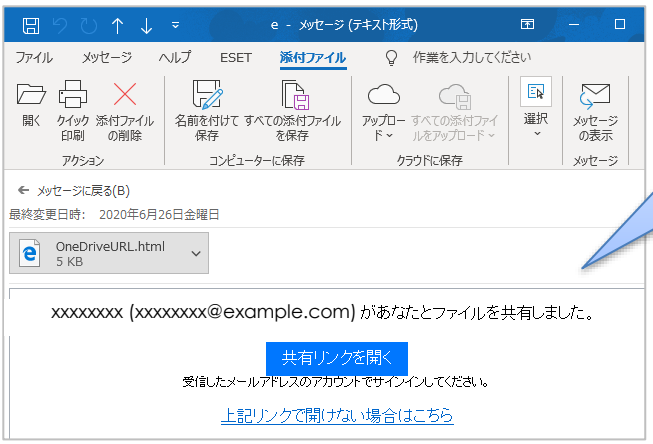
添付ファイルメールを送信する際、送信 Alert 画面で［添付ファイルをリンク共有する］を選択して送信すると、連携済みの OneDrive にファイルをアップロードし、アップロード先情報の通知用ファイル（OneDriveURL.html）がメールに添付されて宛先に送信されます。**添付ファイルは送信されないので、攻撃者にメールを盗聴されても添付ファイルを入手されることはありません。**




<送信者側>

連携中アカウントの OneDrive に、
添付ファイルをアップロードします。

アップロード先情報の通知用ファイルが
添付されたメールが宛先に送信されます。




<受信者側>

受信者は届いたメールの通知用ファイルから
共有リンクを開き、
ファイルをダウンロードして入手します。

## 3．送信 Alert 表示をスキップする Alert 除外リスト機能（ホワイトリスト機能）

送信 Alert 表示をスキップする宛先を登録しておく（Alert 除外リスト）と、メールの宛先がすべて Alert 除外リストに該当する場合、送信 Alert 表示条件の是非にかかわらず送信 Alert 画面は表示されません。ただし、宛先のいずれかが強制 Alert リストに該当する場合は、Alert 除外リスト機能は無効となります。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V3.4.0 新機能／機能改善

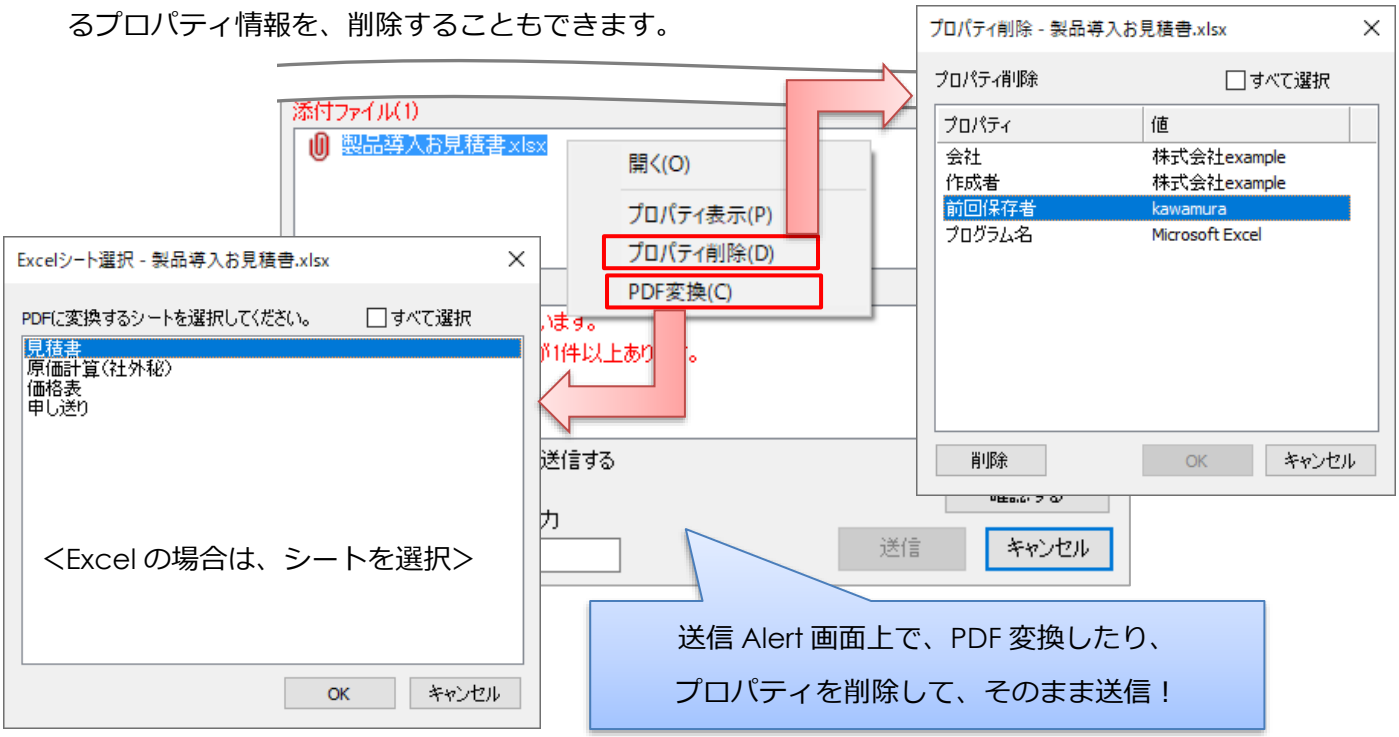
WISE Alert V3.4.0 では、情報漏えい対策のための機能をいくつか追加しました。ビジネス現場で必須の Office 添付ファイルについて、変更履歴があれば警告したり、ファイルのプロパティをチェックして削除できるようになりました。さらに、送信直前に PDF に変換する「添付ファイル PDF 変換機能」も追加しました。また、実際の宛先の中にフェイクアドレスを忍び込ませる「慣れ防止機能」を追加し、宛先を必ずチェックするよう習慣付けることが期待できます。その他、既存ユーザ様からの要望の多かった、特定のキーワードがあれば警告する「キーワードチェック機能」や、社内から上がった、意図しない「全員に返信」時の警告機能も追加しています。

## 1． 添付ファイルの PDF 変換、プロパティチェック、変更履歴警告機能（情報漏えい対策）

情報漏えいにつながりかねない「Excel の社外秘シートや計算式を送ってしまった！」などを、未然に防ぐために、送信 Alert 画面で、Excel／Word／PowerPoint の添付ファイルを PDF に変換する機能を追加しました。特に Excel では選んだシートのみを PDF に変換できます。

送信 Alert 画面での確認中に気づいたら、警告画面上で添付ファイル名を右クリックして PDF 変換することができるので、キャンセルして再度送信し直すといった手間がかかりません。

また、同様に右クリックしてプロパティの削除を選べば、その場で個人情報漏えいの可能性のあるプロパティ情報を、削除することもできます。

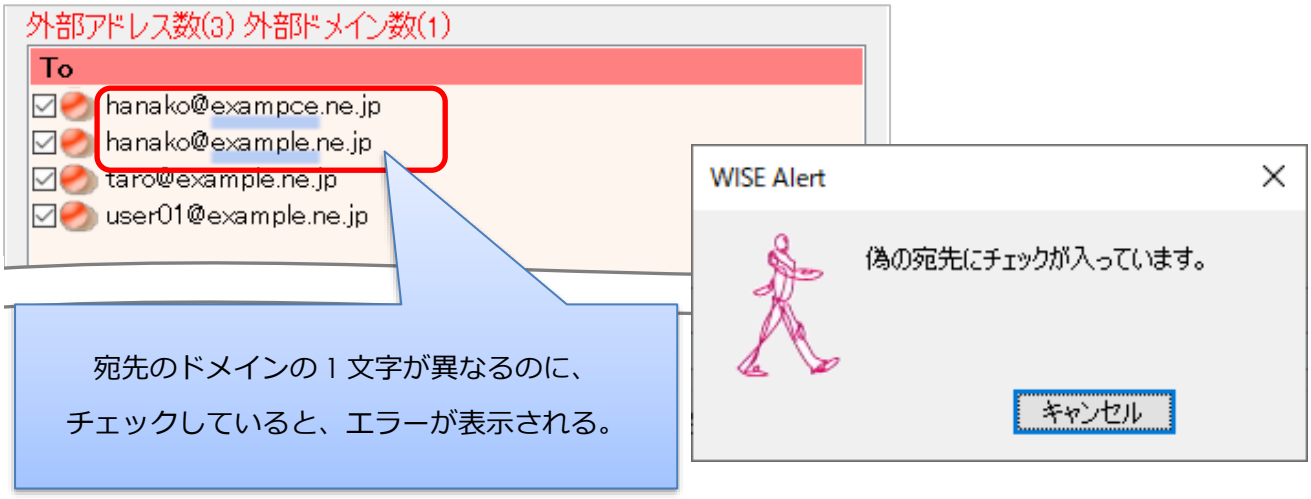



Excel／Word ファイルの場合は、変更履歴に社外秘情報が含まれている場合があります。そこで、変更履歴がついていれば警告を表示するようにもなりました。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

## 2．慣れ防止機能

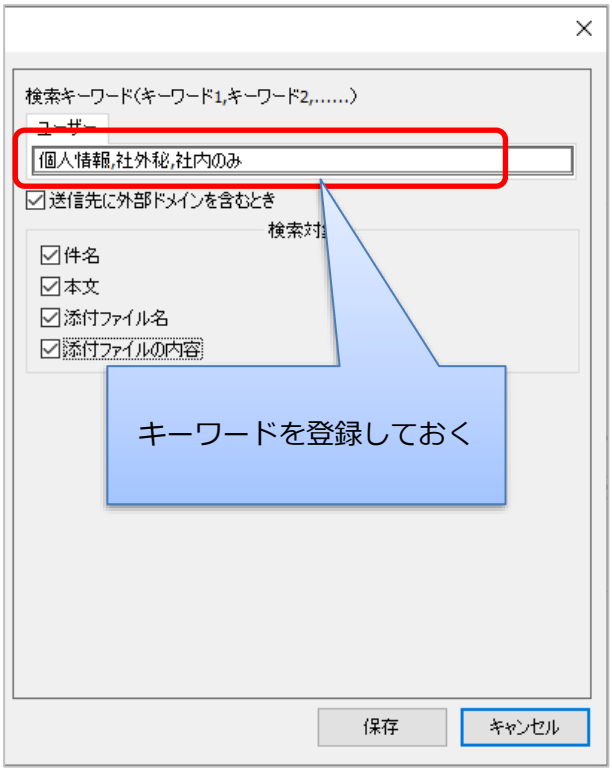
送信 Alert 画面に慣れてくると、宛先の確認がおろそかになる可能性があります。
そこで、本当の宛先の中にフェイクアドレスを忍び込ませ、「常に正しい状態の宛先とは限らない」という認識をもつことで、宛先を必ずチェックするよう習慣付けることができます。
フェイクアドレスが表示される確率は一定ではなく、条件によりアップ／ダウンします。
たとえば、しっかり確認せずすべての宛先にチェックを入れると、「偽の宛先にチェックが入っています。」のエラーメッセージが表示され、送信ができません。




## 3．警告機能の強化

特定のキーワードを登録しておくと、そのワードが件名／本文／添付ファイル名／添付 Office ファイルのいずれかに含まれていれば警告を表示する「キーワードチェック機能」は、複数の既存ユーザ企業様から要望があり追加しました。社外秘情報を含んだメールの送信を未然に防ぐことができます。

また、Bcc でメールを受信した人が「全員に返信」の機能で返信してしまうと、その人のメールアドレスが元のメールの他の返信者に見えてしまいます。そこで、Bcc で受信したメールに対して「全員に返信」を使用としたときは警告を出す機能も追加しました。




Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V3.3.0 新機能／機能改善

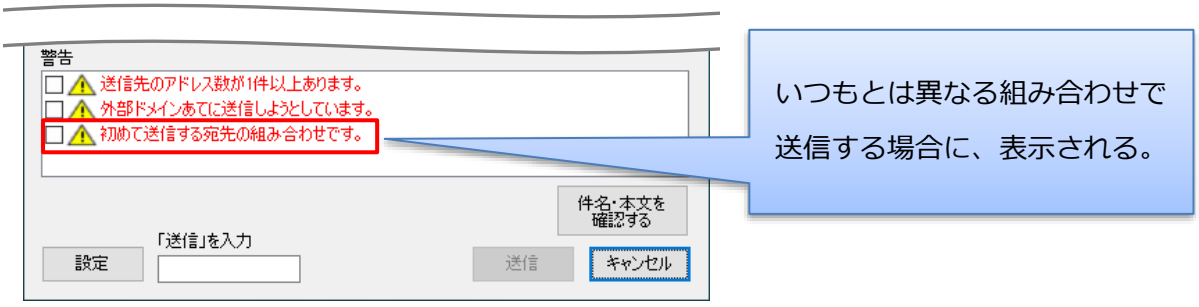
WISE Alert V3.3.0 では、「初めて送る宛先」「久しぶりに送る宛先」「普段と異なる宛先」に対して注意喚起を強化する、ヒューマンエラー3H 対策機能を追加しました。また、大量の宛先に対する誤送信を未然に防ぐ「Bcc 一括変換機能」を追加し、誤送信防止を強化しました。その他、利用中のユーザ様からの要望を受け、いくつかの細かな機能も追加しています。

## 1． ヒューマンエラー3H 対策機能

カラーアイコンの設定を自動モードに設定しておくことで、宛先に応じて、自動でカラーサインを変更して知らせます。
例えば、“いつもの宛先に送ったつもり（安全色）なのに、注意色（久しぶりの宛先）で表示されていた”などのケースで、メールアドレスの間違いに気づくことができます。

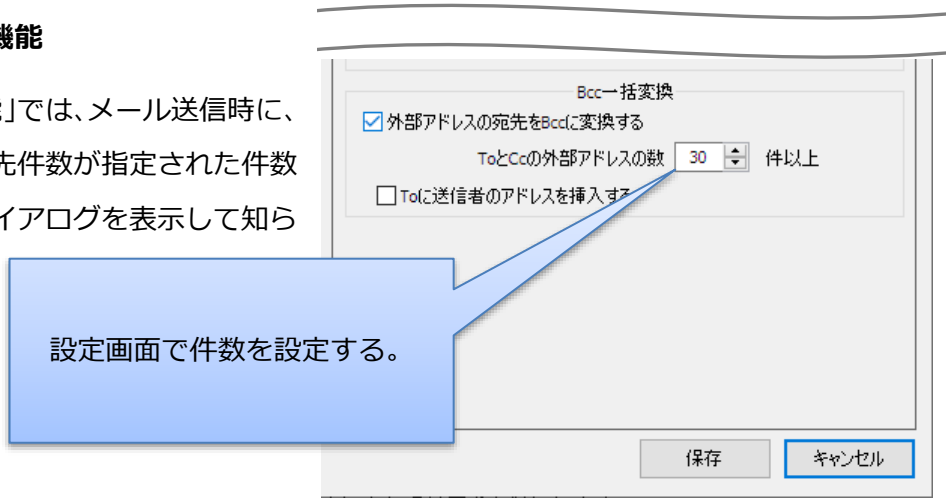
| | 意味 | 社外サイン | 社内サイン |
|---|---|---|---|
| 基本色 | 初めて送る宛先 |  |  |
| 安全色 | いつもの宛先 |  |  |
| 注意色 | 久しぶりの宛先 |  |  |

また、普段と異なる組み合わせでメールを送信すると、送信 Alert 画面に「初めて送信する宛先の組み合わせです。」と警告メッセージを表示し、送信者に対して注意喚起を高めることもできます。



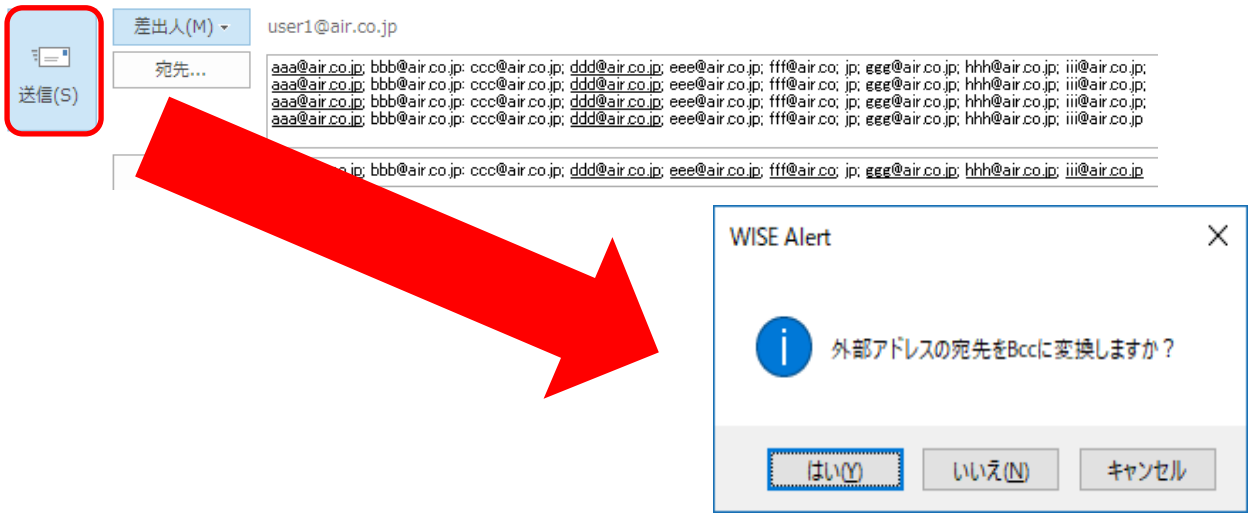

## 2．Bcc 一括変換機能

「Bcc 一括変換機能」では、メール送信時に、To と Cc の社外宛先件数が指定された件数以上の場合、確認ダイアログを表示して知らせます。




Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

例えば、“Bcc に入れたつもりの大量の社外アドレスが To や Cc に入っていた！”ケースの誤送信を未然防止することができます。




### ３．管理者の一括設定機能の充実

エンタープライズ版では、「上司 Cc 自動付与機能」や「宛先社名表示機能」などのユーザ側でのみ設定が可能だった機能が、管理者側でも設定が可能になりました。管理者とクライアントで設定できる内容が統一されたことで、管理者の一括設定の作業がさらに効率良く行えるようになりました。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V3.2.0 新機能／機能改善

WISE Alert V3.2.0 では、中国語に対応しました。また、V3.1.0 で追加された LDAP ユーザ情報連携機能をさらに充実させ、使いやすく改良しました。その他、利用中のユーザ様からの要望を受け、いくつかの細かな機能も追加しています。

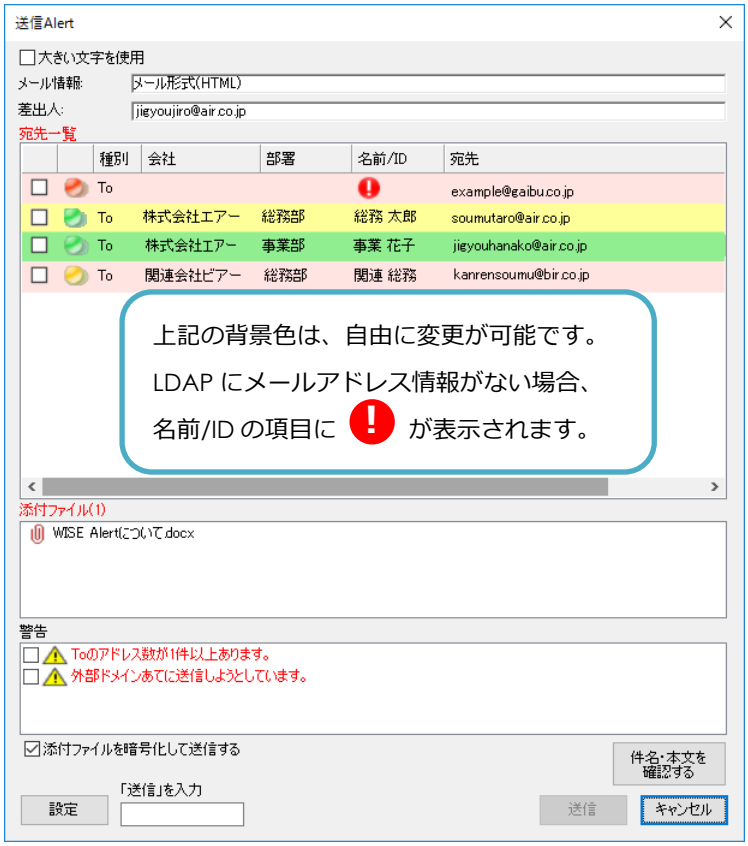
## 1． 多言語対応

多言語対応により、従来の日本語・英語の他に中国語が追加され、WISE Alert 設定画面および送信 Alert 画面の項目や表示されるメッセージを中国語でも表示できるようになりました。
多言語対応に伴い、WISE Alert の言語を選択する方法が変わりました。右の画面イメージのようなプルダウンメニューから言語を選択します。




## 2．LDAP ユーザ情報連携機能オプション（エンタープライズ版/スタンダード版）の充実

**※本機能はオプションです。ご利用いただくには別途ライセンスが必要になります。**




LDAP サーバにメールアドレスの情報がない場合、「社名表示の設定」で該当するドメインが登録されていれば、対応する会社名を表示できるようになりました。ドメインが登録されていなければ空白です。

また、宛先一覧のヘッダー項目をドラッグ＆ドロップすることで、列順を変更できるようになりました。

なお、本機能を使用するには、設定ファイルの指定が必要です。本機能を使用した場合の送信 Alert 画面イメージは左記の通りです。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

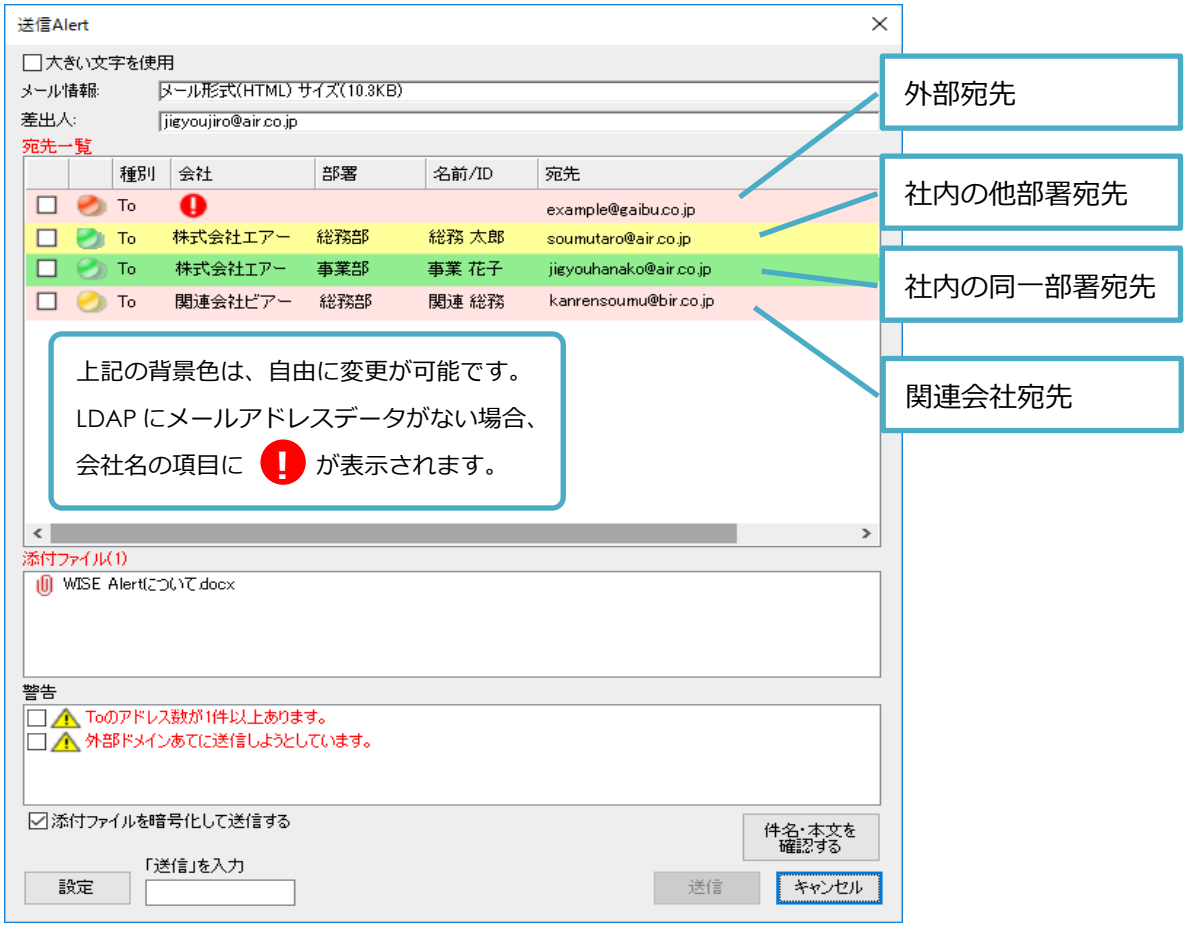
# WISE Alert V3.1.0 新機能／機能改善

WISE Alert V3.1.0 では、LDAP サーバに登録済みのユーザ情報がある場合は、そこから取得した宛先の会社名・部署名・氏名を表示する機能（オプション）を追加しました。その他、対応 OS として Windows Server 2016 を追加しました。

## 1．LDAP ユーザ情報連携機能（エンタープライズ版/スタンダード版）

**※本機能はオプションです。ご利用いただくには別途ライセンスが必要になります。**

LDAP サーバに登録済みのユーザ情報がある場合は、LDAP から取得した宛先の会社名・部署名・氏名を表示できるようになりました。また、本機能を使用するには、設定ファイルの指定が必要です。以下は、本機能を使用した場合の送信 Alert 画面イメージです。




## 2．Windows Server 2016 対応

対応 OS として、Windows Server 2016 を追加しました。

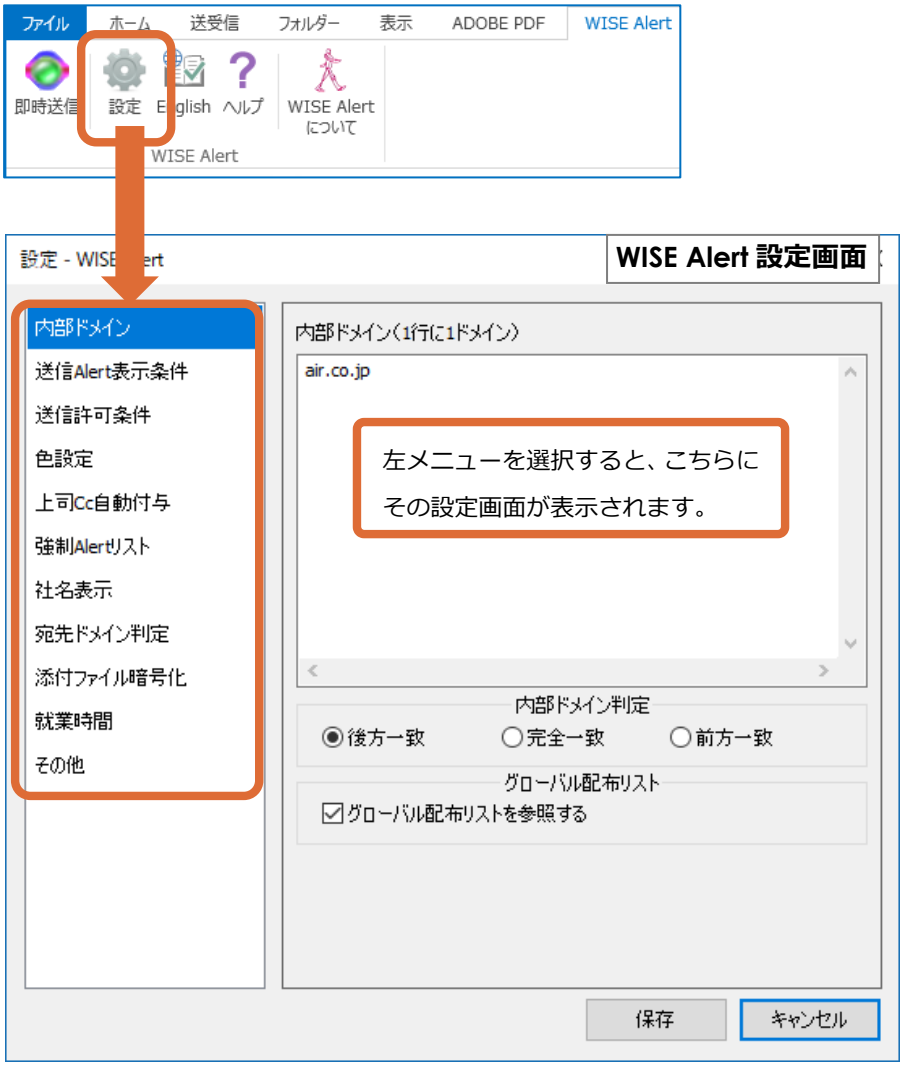
Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V3.0.0 新機能／機能改善

WISE Alert V3.0.0 では、設定画面はタブを選択する画面から、左メニューから選択する画面へ大きく刷新しました。また、送信 Alert 画面の背景色を自由に変えられる機能を追加しました。この機能は、ユーザの送信 Alert 画面に対する慣れ防止に役立ちます。その他、添付ファイル暗号化時の拡張子の設定を保存する機能（添付ファイル暗号化機能利用時のみ）も追加いたしました。

## WISE Alert 設定画面の改良

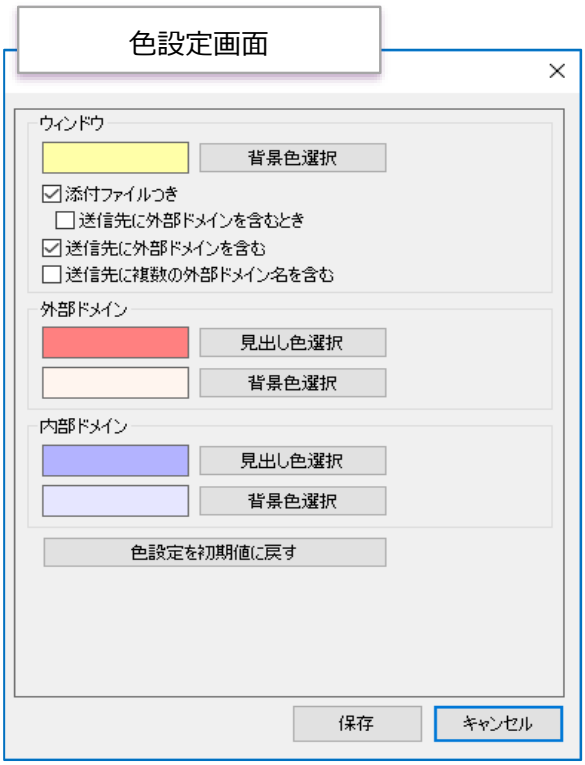
WISE Alert の設定画面の左メニューから各設定画面を選択するようになりました。また、設定項目のグルーピングを見直し、直感的でわかりやすい操作ができるように改良しました。




Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

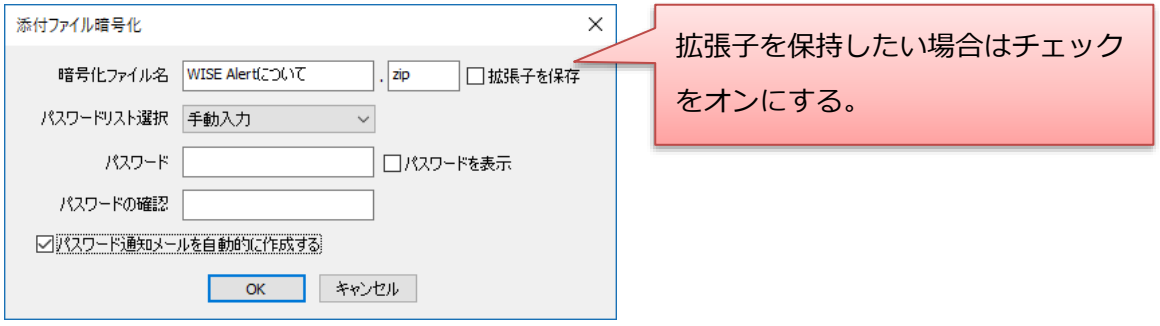
## 2. 送信 Alert 画面が大きく刷新！

「色設定」で条件と背景色を設定しておき、その条件にヒットするとウィンドウ背景色が指定された色で表示されます。例えば、外部宛てで添付ファイルがあるときに違う背景色で表示させることで、注意喚起できます。
また、背景色をつける条件や、背景色・見出し色は自由に変えられるので、送信 Alert 画面に対する慣れを防止する点でも役立ちます。
※エンタープライズ版の場合は、管理者が設定します。




## 3．添付ファイル暗号化の拡張子の保持機能（添付ファイル暗号化機能利用時のみ）

相手先で拡張子が zip のファイルを受信できない場合などに zip 以外の拡張子に書き換え、その設定を保持できるようになりました。常に zip 以外の拡張子で送る運用時などに有効です。



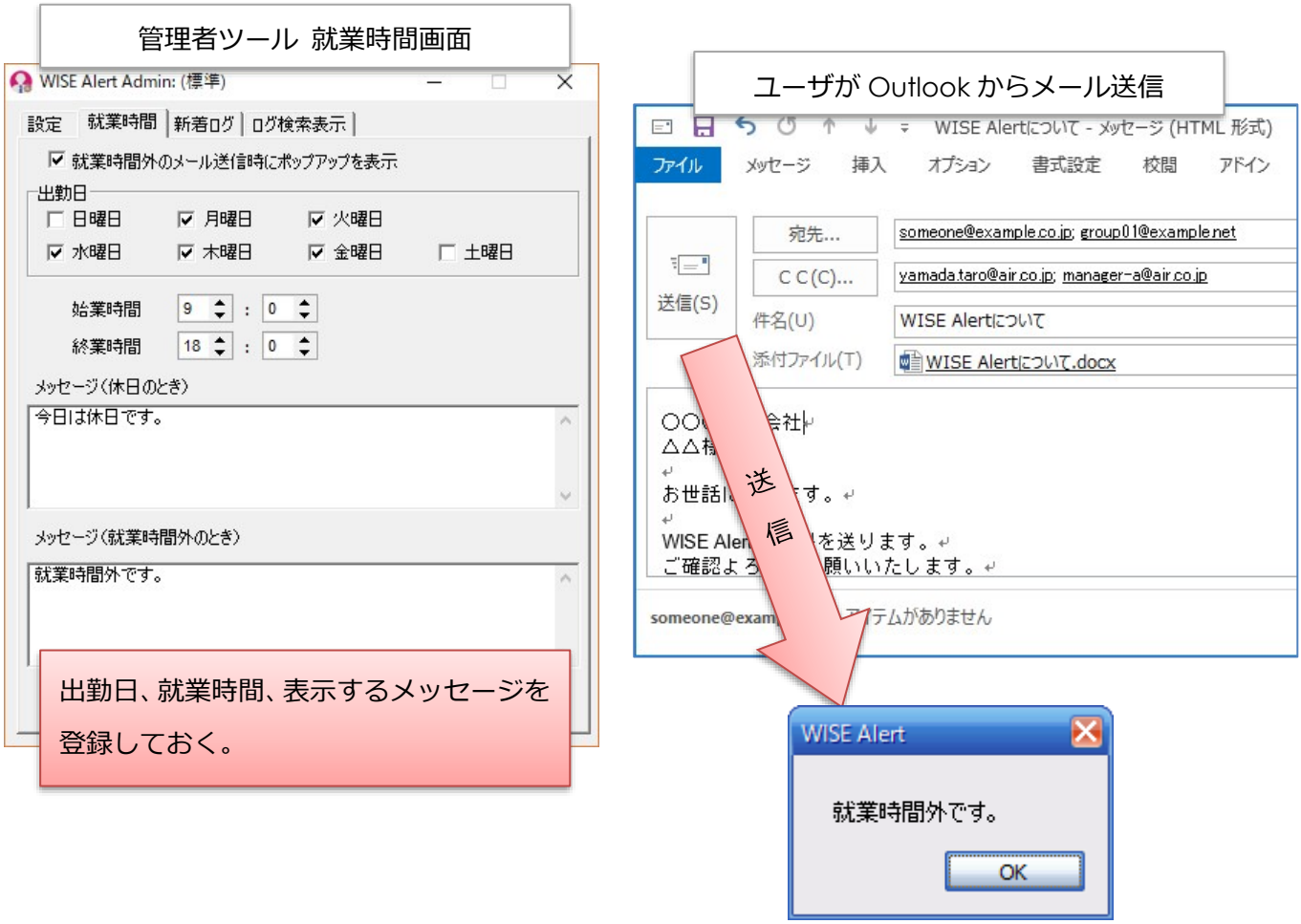

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V2.7.0 新機能／機能改善

WISE Alert V2.7.0 では、働き方改革の柱の一つである長時間労働の改善にむけ、就業時間外のメール送信への注意喚起機能を追加しました。また、使い勝手をよりよくするために、使用していない機能は非表示にすることができるようになりました。その他、誤送信防止機能をさらに強化し、トラブル時の対処やメンテナンス作業が容易になるように改良しました。

## （１）就業時間外のメール送信時ポップアップ機能（エンタープライズ版）

出勤日や就業時間を登録しておき、ユーザがその就業時間以外にメールを送信した場合、メッセージをポップアップとして表示する機能を追加しました。これにより、時間外労働を減らすための注意喚起を行えます。



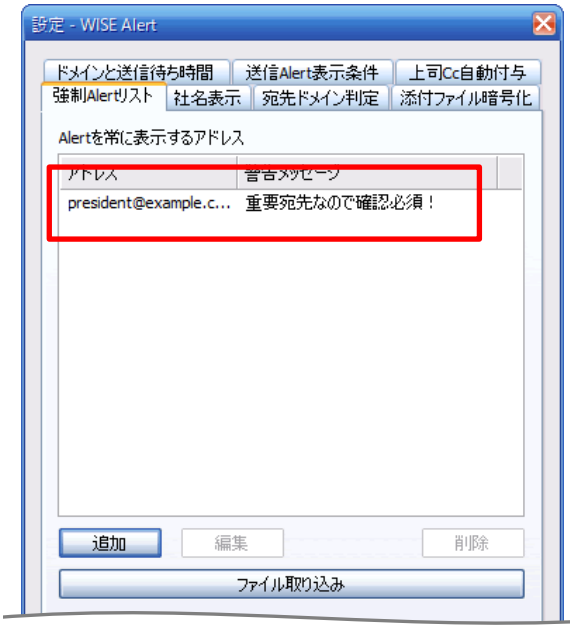

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

## （２）強化された誤送信防止機能

強制 Alert 時の警告メッセージ設定機能

強制 Alert リストに登録されているアドレスごとに、警告メッセージを設定できるようになりました。
これにより、表示される送信 Alert 画面でその宛先についての注意点を確認できます。

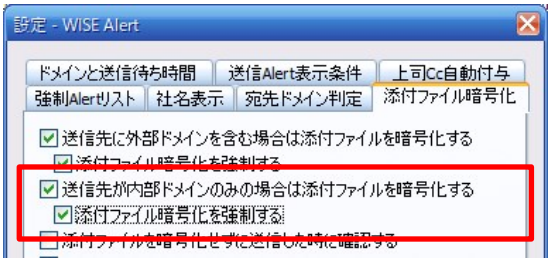
ファイルからの一括登録もできます。




内部宛てメールの添付ファイル暗号化機能

内部宛のメールに対しても、添付ファイルを暗号化して送信できるようになったうえ、添付ファイルの暗号化を強制できるようになりました。

これにより添付ファイルによる情報漏えいの予防が強化されます。

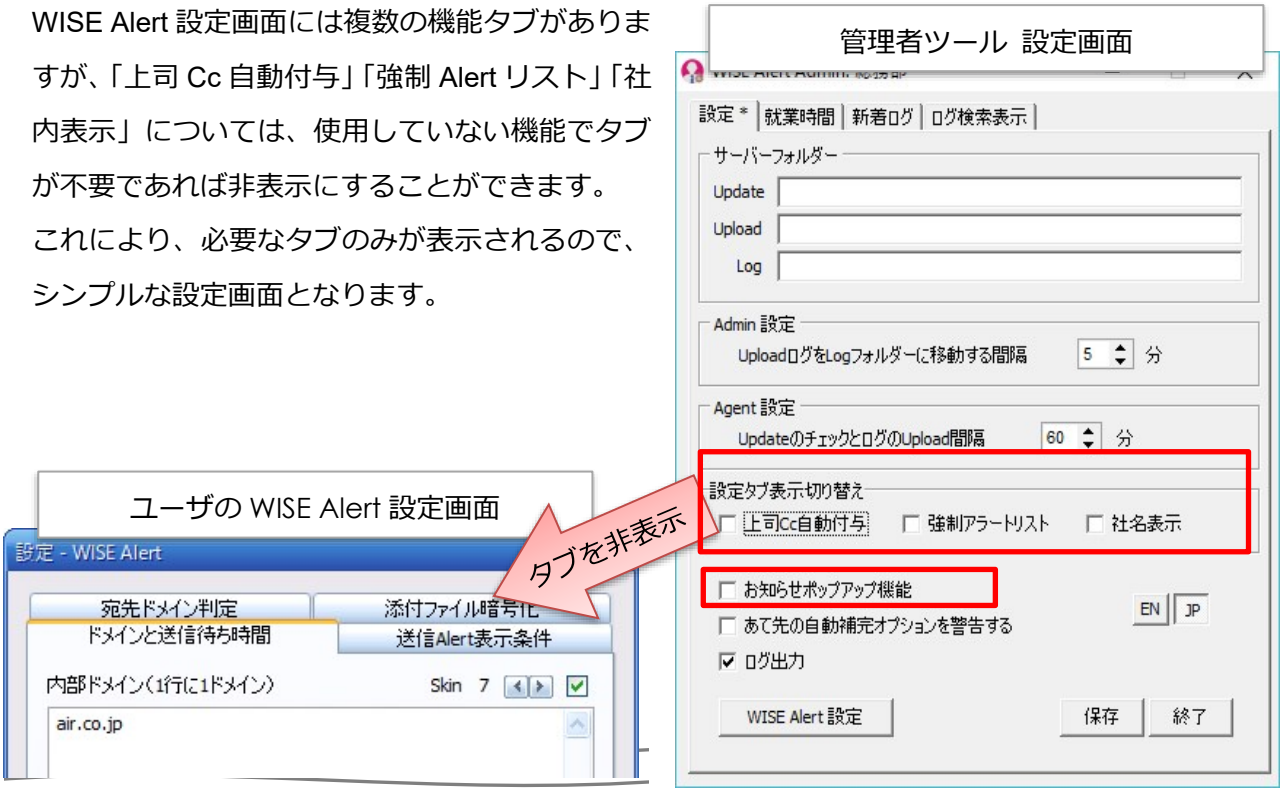



Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

## （3）シンプルな使用のためのカスタマイズ機能

### （1） 使用していない設定タブの非表示機能（エンタープライズ版のみ）

WISE Alert 設定画面には複数の機能タブがありますが、「上司 Cc 自動付与」「強制 Alert リスト」「社内表示」については、使用していない機能でタブが不要であれば非表示にすることができます。
これにより、必要なタブのみが表示されるので、シンプルな設定画面となります。




### （2） お知らせポップアップ機能の有効状態切り替え機能（エンタープライズ版のみ）

お知らせポップアップ機能を使用しない場合は、機能を無効に設定できます。
これにより、無効の場合は、メールヘッダーのチェックが行われないため、Outlook の負荷を軽減できます。

## （4）トラブル対応やメンテナンス作業の簡易化

WISE Alert アドインの有効／無効を切り替えたい場合の、切り替えスクリプトを追加しました。
これにより、トラブル対応やメンテナンスの際の作業が行いやすくなります。

その他、本バージョンでは、ユーザ様の要望にお応えして様々な改良を加え、不具合修正も実施しました。

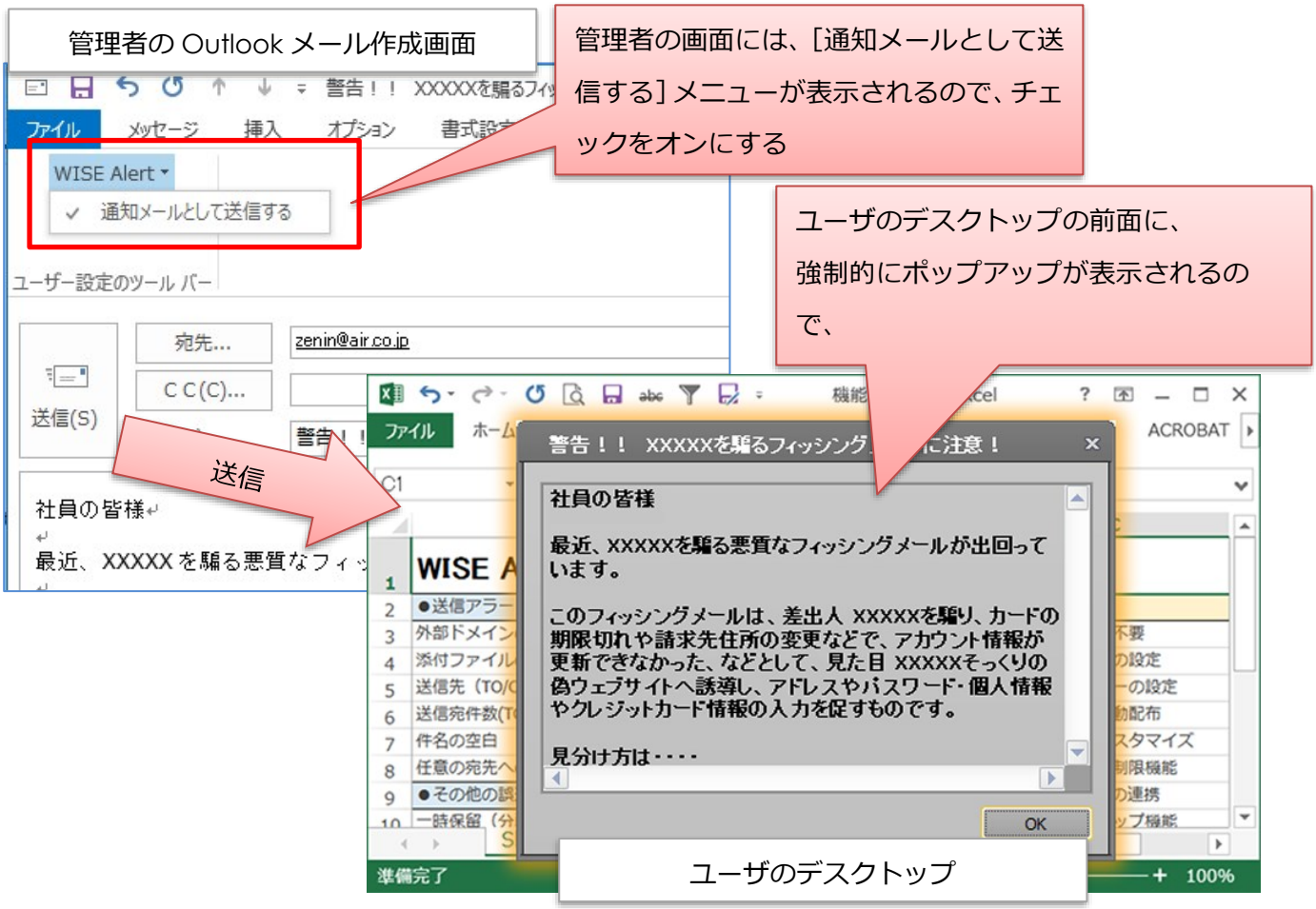
Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V2.6.0 新機能／機能改善

WISE Alert V2.6.0 では、WISE Alert 利用者の要望にお応えし、セキュリティ対策や誤送信対策をより強化する機能や様々な便利機能を追加しました。また、ZIP 暗号化オプション利用時のパスワード通知メール作成に関して、さらに使いやすく改良しました。

## （1）セキュリティ対策に有効なお知らせポップアップ機能（エンタープライズ版）

WISE Alert 導入環境同志で、「通知メールである」ことを指定してメールを送信した場合、その通知メールを受信すると、メールの件名・本文をポップアップとして表示できるようになりました。
たとえば、情シス管理者がフィッシングメールの警告について、全社員に通知したい場合、本機能を使用すれば、全社員がメール受信時にポップアップ表示されるので、必ず目に触れ、注意喚起を徹底できます。



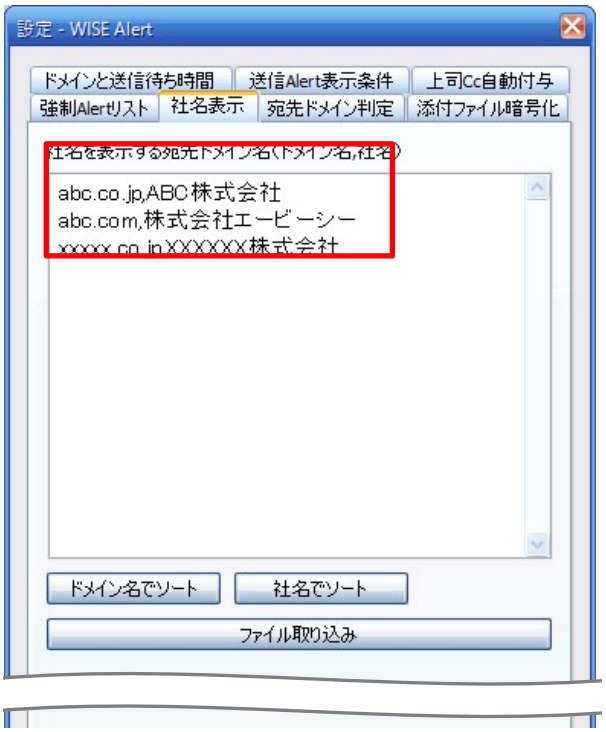

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

## （２）強化された誤送信防止機能

送信 Alert 画面での宛先社名表示で宛先間違いを防止

ドメインと社名の組み合わせを登録しておくと、送信 Alert 画面で宛先の社名が表示されるようになりました。これにより、メールアドレスだけでは気づきにくかった宛先の間違いにも、より気づきやすくなり、誤送信を防止できます。

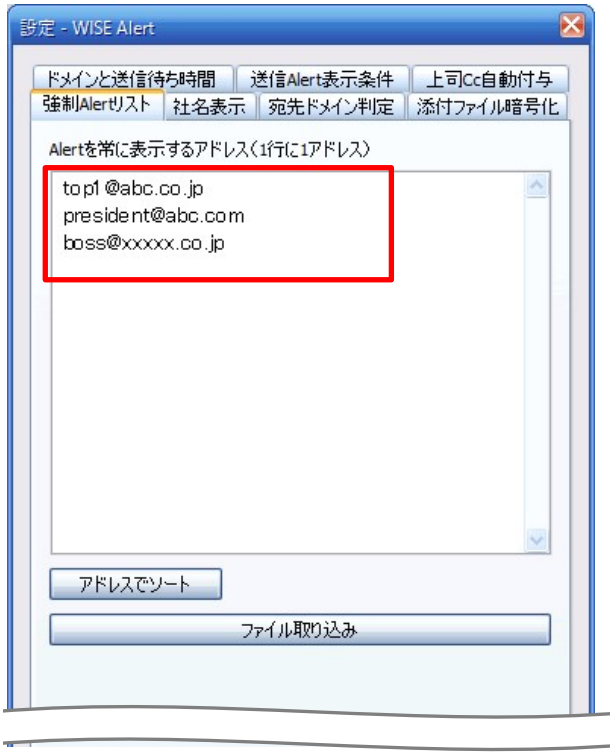
ドメインと社名の組み合わせを記入したファイルから、一括登録もできます。




特定の宛先の場合は、送信 Alert 画面を強制的に表示して確認

特定の宛先を登録しておくと、送信 Alert 表示条件にヒットしない時も、その宛先のメールの場合は送信 Alert 画面を必ず表示させることができます。重要な相手先を登録しておくことで、何重もの誤送信予防になります。

メールアドレスを記入したファイルから、一括登録もできます。

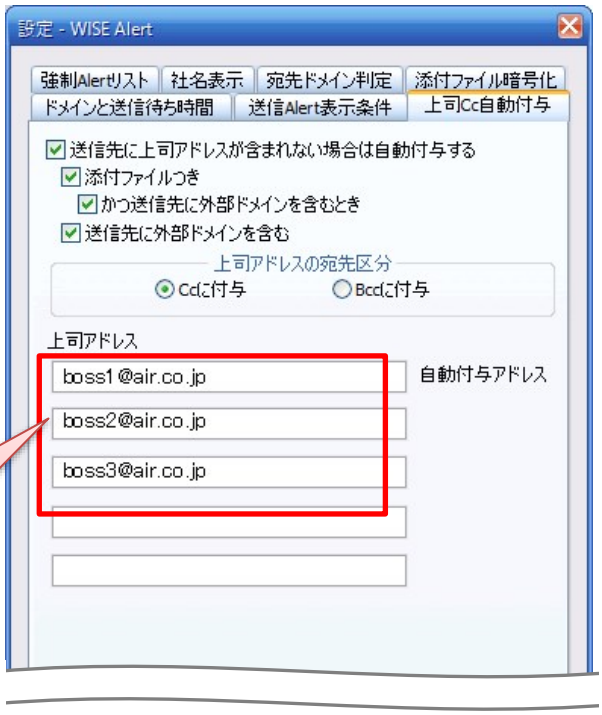



Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

上司アドレスを自動付与して送信

上司アドレスを登録しておくと、メール送信時、宛先に上司アドレスが含まれない場合、上司アドレスが Cc または Bcc に自動付与されて送信されます。

これにより、上司への送信漏れがなくなり、一時保留と組み合わせることで、上司が不許可の場合はメールを取り消すこともできます。

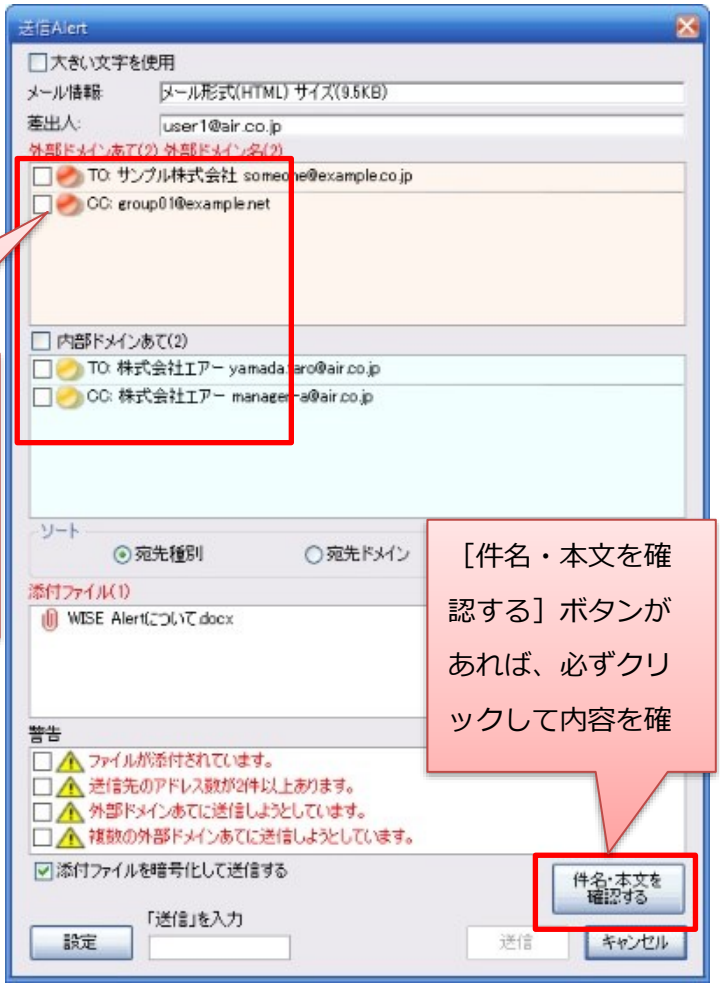



上司アドレスは 5 つまで登録可能
いずれも含まれていなければ、一番上部のアドレスを自動付与

### （3）送信 Alert 画面での送信前のチェックを強化

送信 Alert 画面で、件名や本文を確認したり、宛先をチェックして確認したりできるようになり、しっかりチェックしてから送信できます。

また、ユーザが確認しやすいように改良をしています。




送信先アドレスにチェックボックスを表示し、チェックして確認

ドメインに対応した社名が表示されるので、宛先間違いにも気づきやすい

［件名・本文を確認する］ボタンがあれば、必ずクリックして内容を確

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

### （4）パスワード通知メール作成時の改良（ZIP 暗号化オプション）

添付ファイルを ZIP 暗号化した場合、暗号化解除のパスワードを自動生成し「パスワード通知メール」も簡単に送信できるのが、ZIP 暗号化オプションの大きなメリットです。
その「パスワード通知メール」作成へのステップをスムーズにし、宛先の自動挿入に関する制限を修正してさらに使いやすくなりました。

その他、本バージョンでは、様々な改良と修正を実施しました。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V2.5.0 新機能／機能改善

※対象はすべて Outlook 版です。

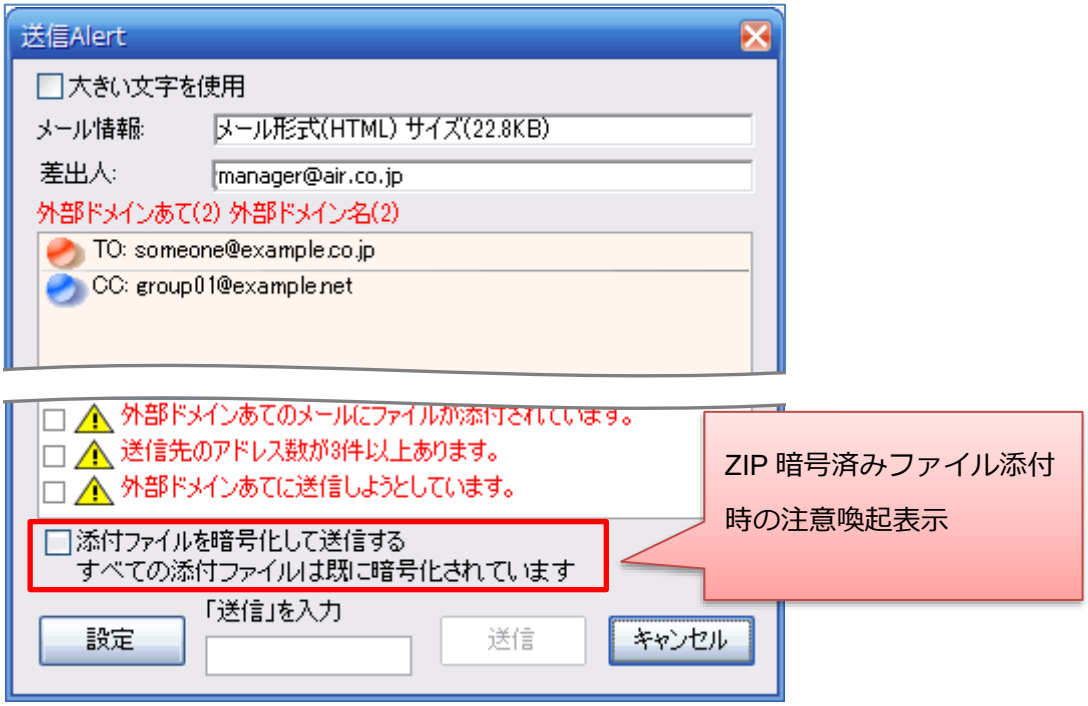
### （1）ターミナルサーバ環境対応

ターミナルサーバ環境に対応し、接続先のサーバが変わってもユーザの WISE Alert 設定が引き継がれるようになりました。

### （2）ZIP 暗号済みファイル添付時の注意喚起機能

添付ファイルがすべて暗号化されている場合は、送信 Alert 画面で「□添付ファイルを暗号化して送信する」のチェックはオフとなり、「すべての添付ファイルは既に暗号化されています」の注意が表示されるようになりました。

■送信 Alert 画面



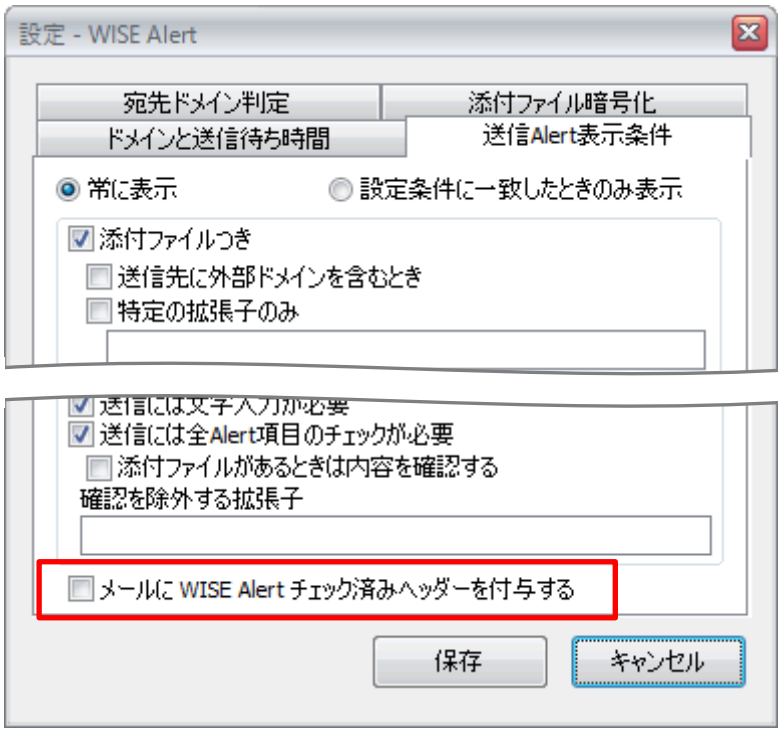

### （3）WISE Alert チェック済みメールヘッダの付与機能

WISE Alert チェック済みであることを示す情報を、メール送信時に独自のヘッダー（x-walcheck）として付加できるようになりました。付加するかどうかは設定画面で指定できます。

本ヘッダーのフィールド値に WISE Alert が表示した警告のタイプや ZIP 暗号化の実行などの情報が追加され、これを利用して他システムとの連携が可能となります。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

■WISE Alert 設定画面




その他、本バージョンでは、管理者ツール（エンタープライズ版）およびクライアントツールでの WISE Alert 設定画面の細かな改良と不具合修正を実施しました。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V2.4.3 新機能／機能改善

※対象はすべて Outlook 版です。

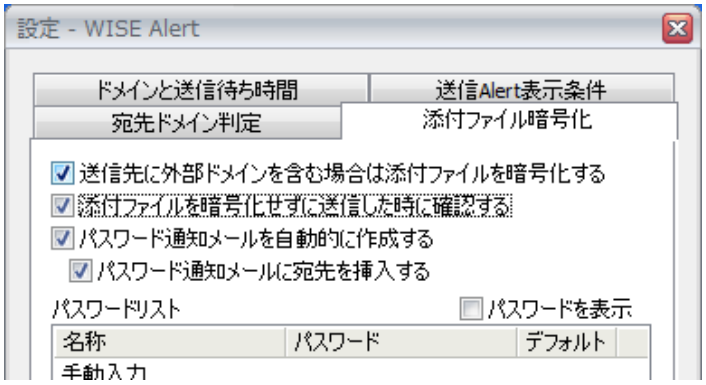
## （1）Windows Server 2008 R2 対応

対応 OS として、Windows Server 2008 R2 を追加しました。

## （2）WISE Alert 設定画面の改良

宛先ドメイン判定オプションと ZIP 暗号化オプションの両方を導入している環境で、クライアントツールおよび管理者ツールの設定画面でタブが 2 段になるように表示を改良しました。

■設定画面（タブを 2 段表示中）




## （3）調査用ログ出力の追加

・トラブル発生時の状況を把握できるように調査用ログを出力するように改善しました。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V2.4.2 新機能／機能改善

**大規模ユーザ向けに運用面の機能を向上！内部ドメイン判定方法の追加、**
**Alert 表示対象メールの拡張など、クライアントツールの機能もさらに充実！**

WISE Alert V2.4.2 Outloook 版では、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) などのソフトウェア配布ツールによってクライアント PC の管理を行う大規模ユーザ向けの機能を追加し、運用性が向上しました。また、「会議出席依頼メール」も Alert 表示対象のメールとして処理する機能や、Alert 画面の表示・操作がより便利となる機能を追加し、ユーザの誤送信防止の支援を強化しました。ZIP 暗号化オプションでも利便性を向上させる機能を追加しました。

## （1）大規模ユーザ向けのインストール・アンインストール機能の向上

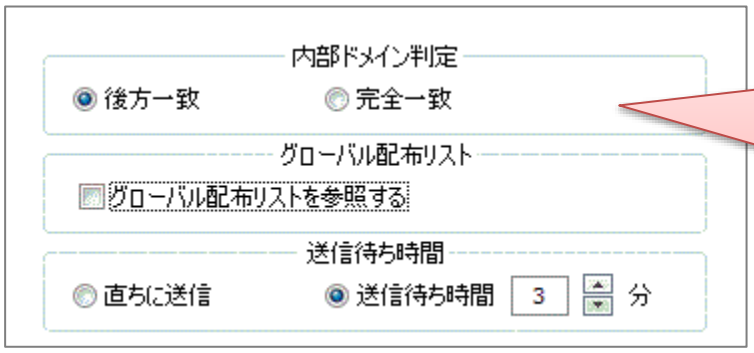
クライアントツールのアンインストールをシステムの管理者側で実行できるようになり、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) などのソフトウェア配布ツールによってクライアント PC の管理を行う大規模ユーザの運用性が向上しました。
また、クライアントツールのデフォルトの言語設定を、サイレントインストール実行時にも日本語/英語から指定することができるよう機能を追加しました。

## （2）Alert 表示機能の改良

- 会議出席依頼メール・タスク依頼メール対応
  会議出席依頼メール・タスク依頼メールの送信時にも Alert 画面が表示されるようになりました。
- 完全一致による内部ドメイン判定の追加
  内部ドメインの判定方法を、後方一致／完全一致から選択できる機能を追加しました。
  完全一致を選択することで、サブドメイン A(例：osaka.air.co.jp)を内部ドメイン、サブドメイン B(例：tokyo.air.co.jp)を外部ドメインとして判定することが可能となります。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

■内部ドメインの判定方法を後方一致／完全一致から選択




送信先のメールアドレスと内部ドメインリストにあるドメインとを、後方一致で比較するか完全一致で比較するかを選択します。

### （3）Alert 画面の改良

- 外部/内部アドレスの表示ボックスの分割

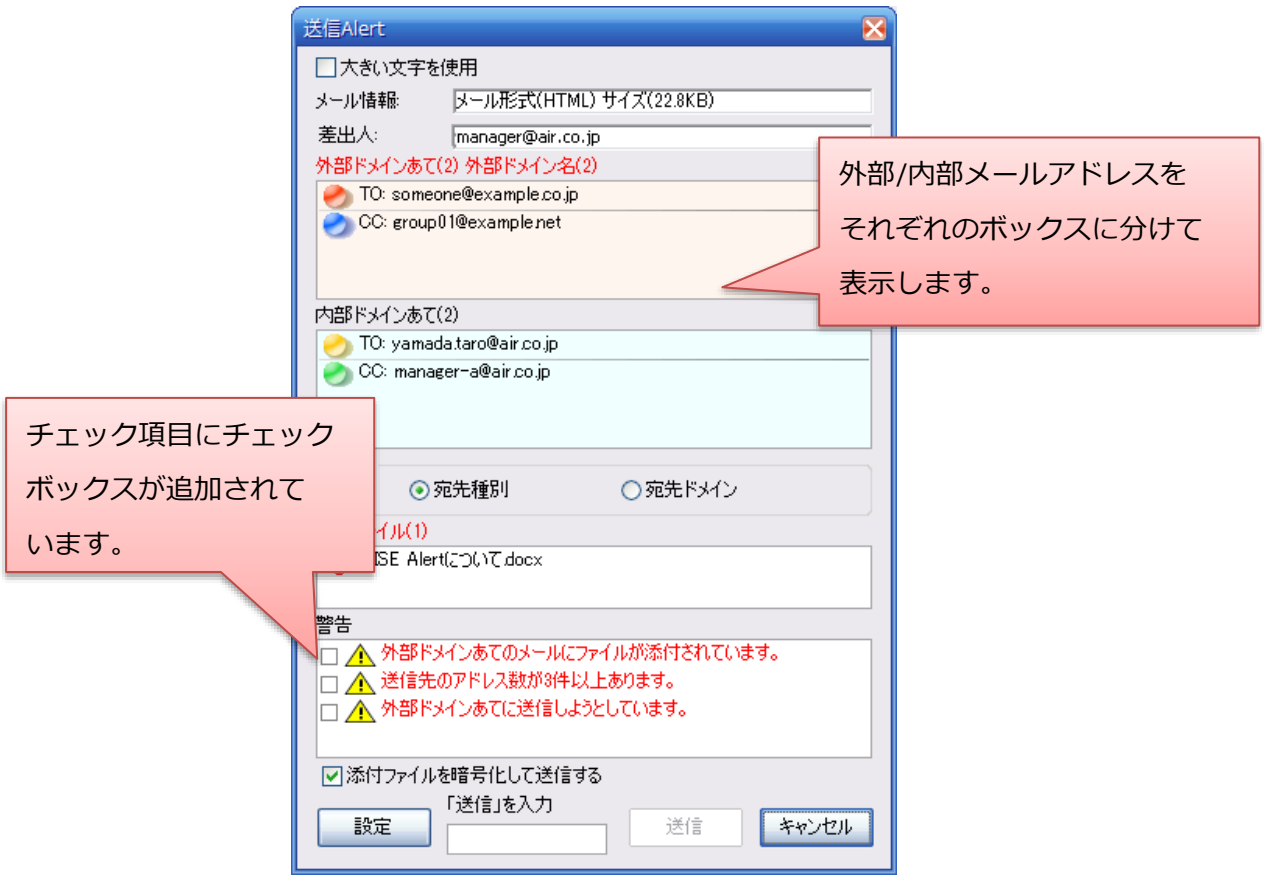
  送信 Alert 画面上の外部/内部アドレスの表示について、それぞれで分割しました。これにより、送信先のメールアドレスをより確認しやすくなりました。

- チェックボックスの追加

  Alert 画面のチェック項目にチェックボックスを追加しました。この機能により、メール送信時に項目をチェックする必要があることが、より直感的に判断できるようになりました。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

■Alert 画面

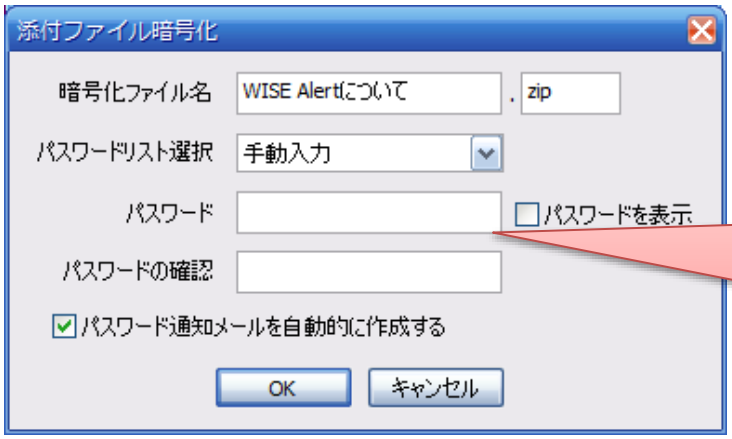



### （3）ZIP 暗号化オプションへの追加機能（エンタープライズ版／スタンダード版）

- 添付ファイル付きメールの送信後、ZIP 暗号化されたファイルのパスワード通知メールを生成するとき、メールの送信先を継承する/しないを設定する機能を追加しました。誤送信防止という観点からメールの送信先を継承しない、利便性の面からメールの送信先を継承する、といった選択が可能となります。
- ZIP 暗号化の解凍パスワードとして利用可能な文字に、以下の記号を追加しました。
  ! # $ % & ' ( ) - ^ ¥ @ [ ; : ] , . / = ~ | ` { + * } < > ? _

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

■添付ファイル暗号化画面




パスワードは 1 文字以上の半角英大小文字、半角数字または以下の記号を使用できます。

```
!#$%&'()-
^¥@[;:],./=~|`{+*}<>?_
```

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V2.4 新機能／機能改善

「WISE Alert」のバージョン 2.4 では、メール送信時に添付ファイルを自動で ZIP 暗号化するオプションを追加し、誤送信対策をより強化できるようになりました。また、セットアップ時の利便性を向上し、ソフトウェアの導入と保守がより容易になるよう拡張しました。

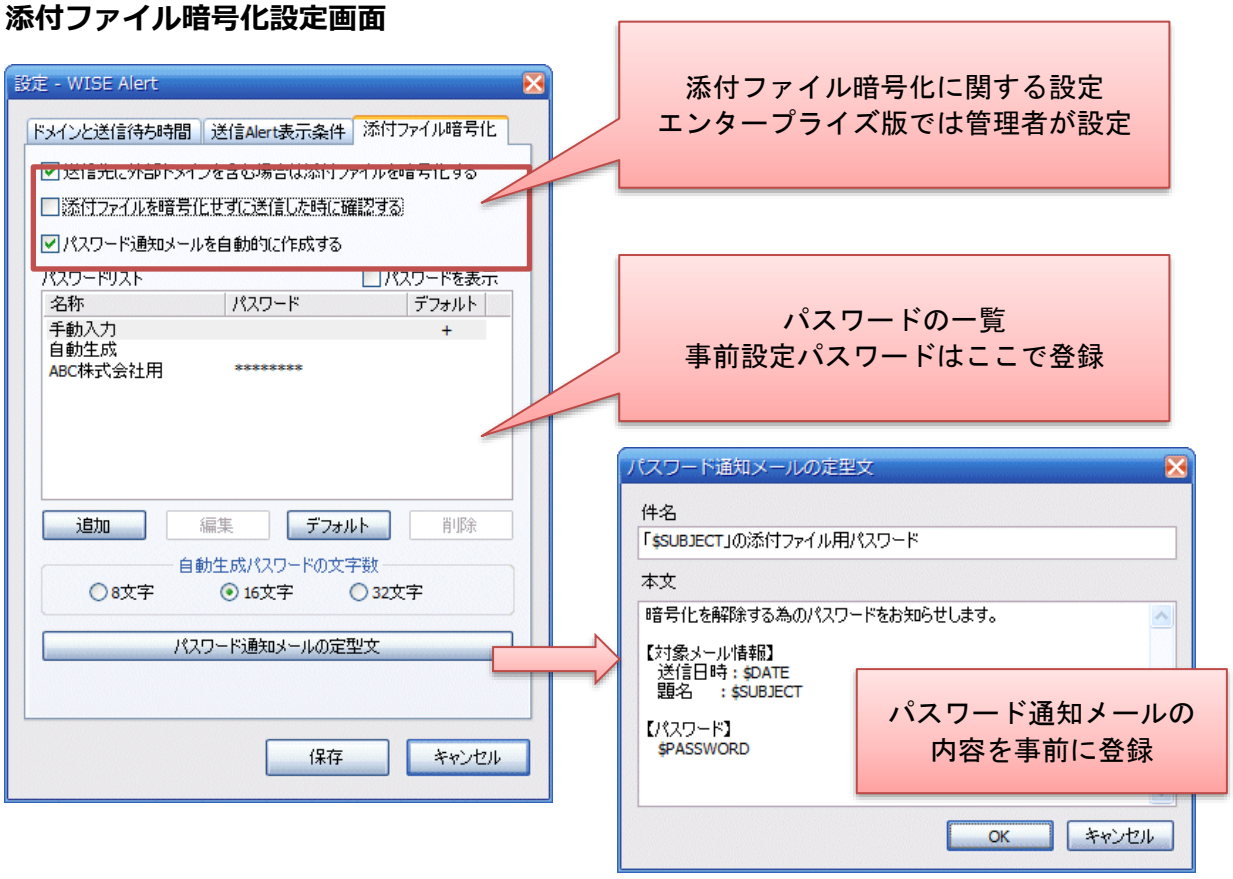
## （1）ZIP 暗号化オプション機能（エンタープライズ版／スタンダード版、Outlook 版のみ）

送信先に外部ドメインを含む場合、ファイルが添付されているとメール送信時に添付ファイルを自動 ZIP 暗号化する機能です。複数の添付ファイルは一つの ZIP 暗号化ファイルにまとめられます。パスワードは以下の 3 種類の方式から選択でき、パスワード通知メールも自動で生成することが可能です。

- 手動入力：送信時に、パスワードを送信者が入力する方式
- 自動生成：送信時に、自動でパスワードを生成する方式
- 事前設定パスワード：事前にパスワードを登録しておき、送信時に選択する方式

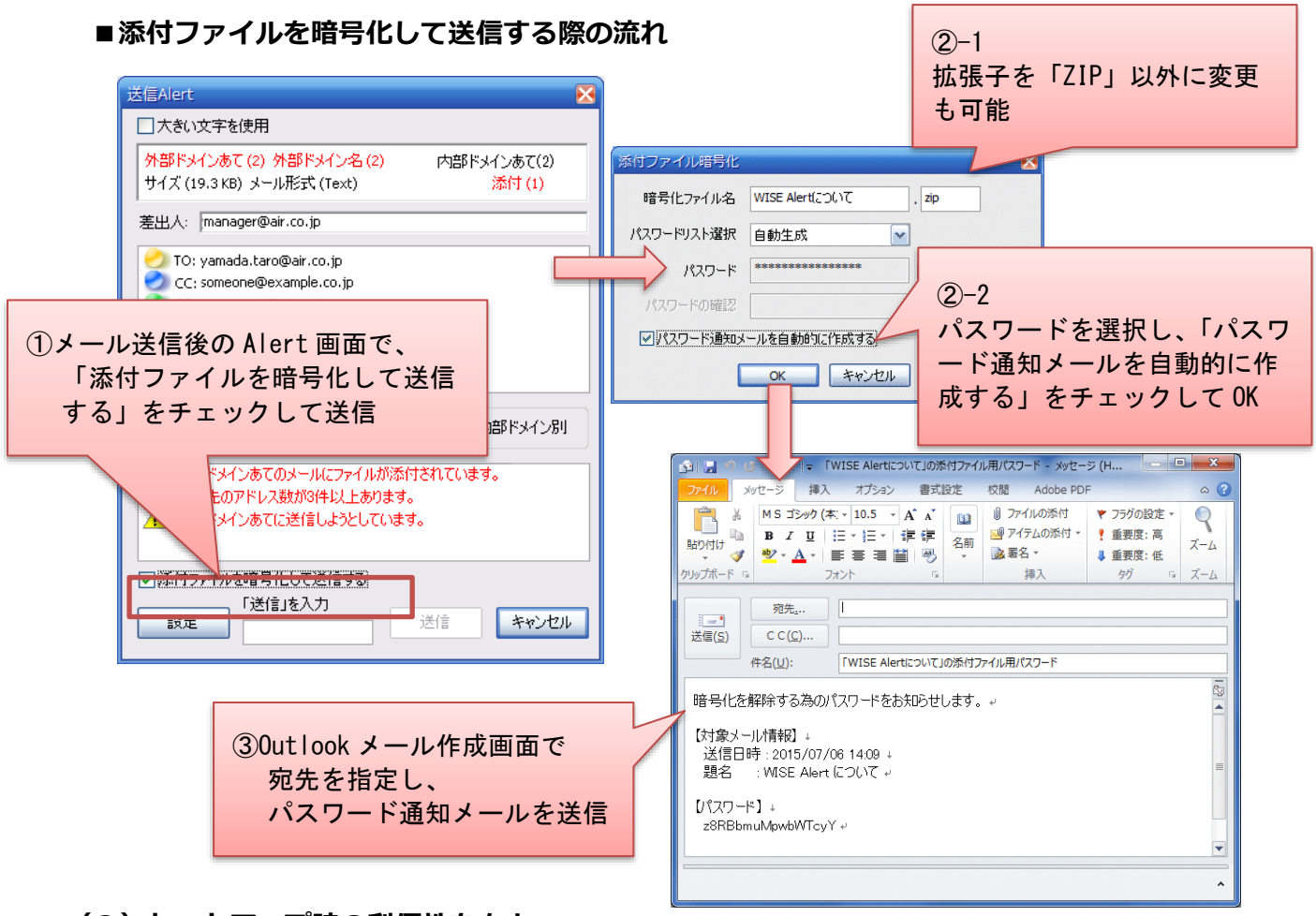
パスワードを通知しなければ添付ファイルを開くことができないため、万一の誤送信時の、添付ファイルからの情報漏えいを防止できます。

### ■添付ファイル暗号化設定画面




Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

■添付ファイルを暗号化して送信する際の流れ




## （2）セットアップ時の利便性を向上

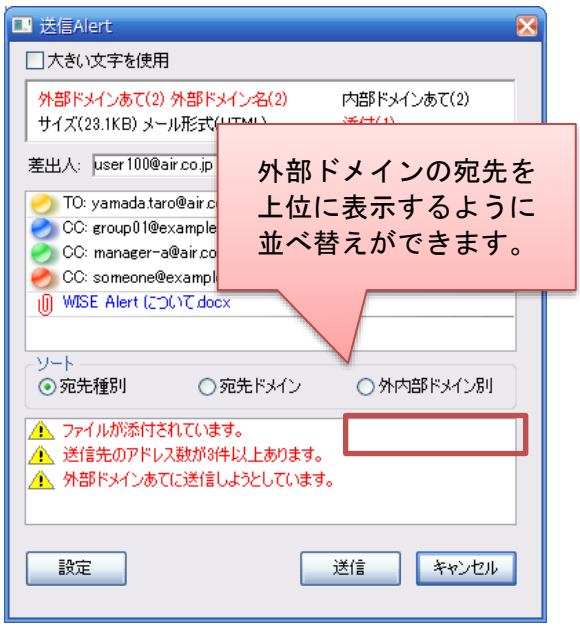
ソフトウェアの導入と保守がより容易になるよう以下のように拡張しました。

- 32bit/64bit 版インストールプログラムを共通化
- Outlook 起動中やアップグレード時に柔軟な対応のできるインストールオプションを追加
- インストール時の出力ログを強化

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V2.3 新機能／機能改善

「WISE Alert」のバージョン 2.3 では、社外への宛先を重点的に確認しやすいように、警告ウィンドウの宛先メールアドレスのソート機能を改良しました。




## 外部ドメイン確認機能

警告ウィンドウに表示される宛先メールアドレスを「外内部ドメイン別（外部ドメインを上位に表示）」でソートする機能を追加しました。
これにより、社外への宛先を重点的に確認することができます。
また、指定したソート順は、次回送信時また次回起動後の送信時もその設定が引き継がれます。

### 【内部ドメインとして［air.co.jp］を設定している場合のソート例】

- 宛先種別でソートした場合
To、Cc、Bcc の順番に表示します。
例えば、**Bcc に入力するはずの宛先が Cc に入っていないか、上司への Cc を入れ忘れていないか**…等の観点で宛先を確認することができます。




- 宛先ドメインでソートした場合
ドメイン名の順にソートします。
同じドメインを持つ宛先がまとめて表示されるので、例えば **user01@yyy.com に送るはずが user01@aaa.com を指定していた…等、ユーザ名が同一の他社宛になっていないか**を確認することができます。




- 外内部ドメインでソートした場合
宛先アドレスのうち、社外ドメインを優先して上部に表示させます。
**社外の宛先を重点的に確認することができるため、外部への誤送信を徹底して防ぐ**ことが可能です。




Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

# WISE Alert V2.2 新機能／機能改善

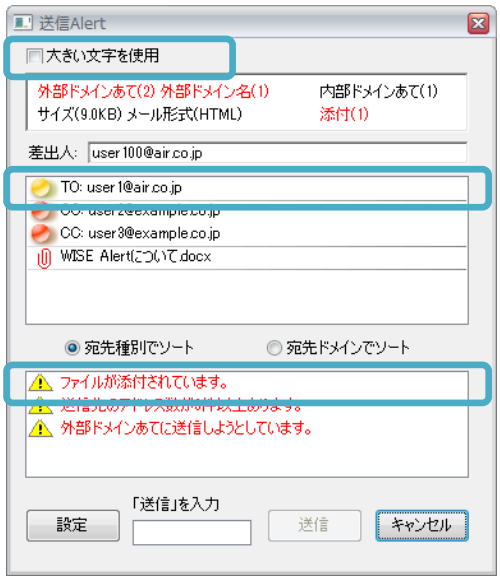
「WISE Alert」のバージョン 2.2 では、アンケートで頂いたお客様のご要望にお答えしました。警告ウィンドウ表示に関して、ユーザの使い勝手がよりよくそしてわかりやすくなるように改良しました。

## フォントサイズ変更機能

警告ウィンドウに表示される文字を、その都度、ワンクリックでサイズ変更できるようになりました。
フォントサイズを大きくした場合は、警告ウィンドウの初期サイズも大きくなります。

## 警告ウィンドウ表示内容の改良

より使いやすいように、警告ウィンドウ内の表示内容に次のような改良をしました。




- 差出人メールアドレスを表示するようになりました。差出人を変更している場合の確認ができます。
  ※ただし Outlook2013 の場合は、差出人欄は空白表示となります。

- 宛先メールアドレスがドメインごとに並べ替えられるようになりました。
  宛先が多い場合も確認しやすくなるので、チェック漏れが減ります。

## 警告ウィンドウのサイズ・位置変更機能

警告ウィンドウのサイズを自由に変更できるようになりました。また、サイズやウィンドウ位置は記憶され、次回の警告時には前回と同じサイズと位置で表示されるので、自分の使いやすいように調整できます。

※ただし、Windows 画面内に収まっていなかった場合は、次回表示時は、初期設定表示となります。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.

その他のプログラムの変更履歴は、下記サイトの【**WISE Alert Outlook 版　修正情報**】でご確認ください。

https://air.co.jp/wal/faq/05-1/#faq

新バージョンの魅力はすぐに実感していただけます！！

さっそく評価版でご体験ください。

評価版ダウンロードは下記サイトから

https://air.co.jp/wal/shop/

または、 WISE Alert 評価版 で 検索

* WISE Alert は、株式会社エアーの登録商標です。
* 文中に記載されているその他の会社名、サービス・製品名は、一般的に各社の商標または登録商標です。

Copyright AIR COMPANY LIMITED. All rights reserved.